

Marshall

AMPLIFICATION



2013
PRODUCT CATALOGUE

ジム・マーシャル — ラウドの父 JULY 29TH, 1923 – APRIL 5TH, 2012

ジム・マーシャルの生涯は、非常に興味深く、正真正銘の立身出世の物語です。1923年7月29日に英国のロンドンで生まれたジムの幼少時代は、楽なものではありませんでした。「私はまともな教育を受けていない。骨結核で、いつも病院にいたからだ」とジムは打ち明けます。この痛ましい病気を患ったため、彼は学齢期のほとんどをギブスに覆われて過ごしました。

正式な教育を受けずに育ったジムは、13歳のときに働きはじめました。彼はまた、タップダンスを習い、やがて音楽が彼の人生の中心になりました。「ある楽団のリーダーが私の歌を聴いて、オーディションを受けるよう勧めてくれた」とジムは回想します。彼はオーディションに合格し、14歳になるころには16人編成のビッグバンドのリード・ボーカリストとして週に6日はステージに立つようになりました。

1942年にはバンドのドラマーが徴兵され、ジムが代わりにドラマーを務めることになりました。ドラム・キットの前に座った彼の天性の才能はたちまち知れわたり、ほどなく彼は演奏者としても教師としても引っぱりだこになりました。ジムは週に65人もの生徒を指導するようになり、その中にはミッチ・ミッチェル（ジミ・ヘンドリックス）やミック・ウォーラー（リトル・リチャード、ジェフ・ベック・グループ）など、後に大活躍した有名ドラマーが何人もいました。



1960年、ジムはドラム・ショップをオープンしました。「ドラマーたちがバンドの仲間を連れてやってきて、そこでギタリストのビート（・タウンゼント）やリッチー（・ブラックモア）と出会ったんだ」とジムは振り返ります。「ギターやアンプも扱ってほしいと彼らが言うから、やってみることにした」。間

もなく彼は、店にやってくるギタリストたちが探し求めているサウンドがあることに気づきます。「話を聞くうちに、彼らが欲しがっているものが、はっきりとわかった」とジムは語ります。「そこで少人数のチームを集めて、彼らが追い求めるサウンドを実現するバルブ・アンプを作ることにしたんだ」



何度か試作を重ねたのちに、最初のマーシャル・ヘッドが1962年9月に製造されました。このアンプはたちまちヒットになりました。ジムはこれを2x12"のキャビネットと合わせてみましたが、サウンドが気に入りませんでした。「それに、すぐにスピーカーが吹き飛ばされてしまうので、楽にならなかった」と彼は笑います。「そこで、楽に移動できるように、できるだけ小さなエンクロージャーを作って、そこに12"スピーカーを4つ収めた」。このようにしてマーシャル4x12"キャビネットが誕生しました。この製品は、今も「業界標準」として認められています。

1965年にも、マーシャルにとって画期的な出来事が起こりました。「ビート・タウンゼントが、100Wのヘッドと8x12"キャビネットを作ってほしいと言ったんだ」とジムは話します。「私は承諾したけれども、そんな大きなキャビネットは扱いきれなくて、ローディーたちが文句を言うから、アングルド・タイプの4x12"をストレート・タイプのものに重ねることを勧めた。でもビートは聞く耳を持たなかったから、彼のリクエストどおりのものを作って渡したんだ」

ジムの予想は正しく、タウンゼントは戻ってきて、

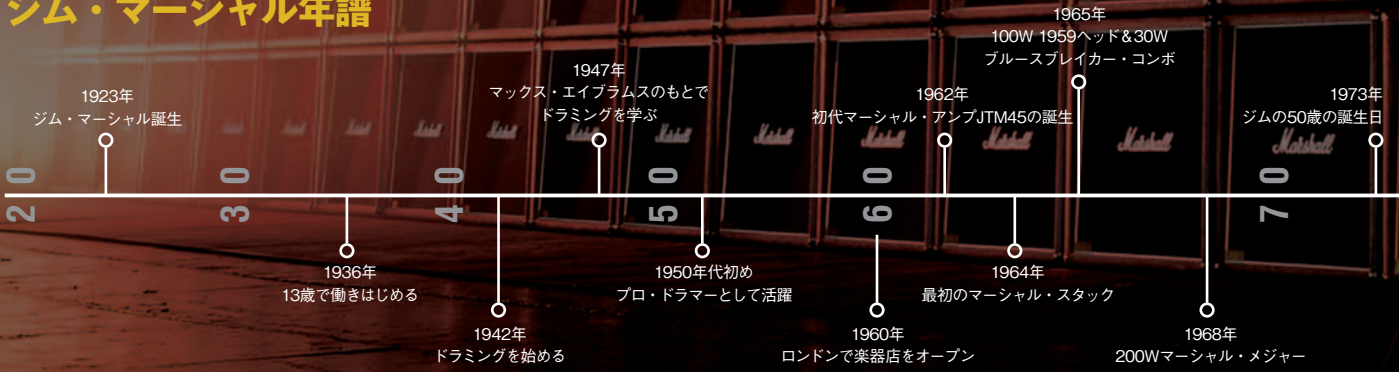
8x12"キャビネットを「半分に分けてくれ」と言いました。その結果生まれたのが、だれもが知っているマーシャルのシンボル、100Wマーシャル・スタックです。

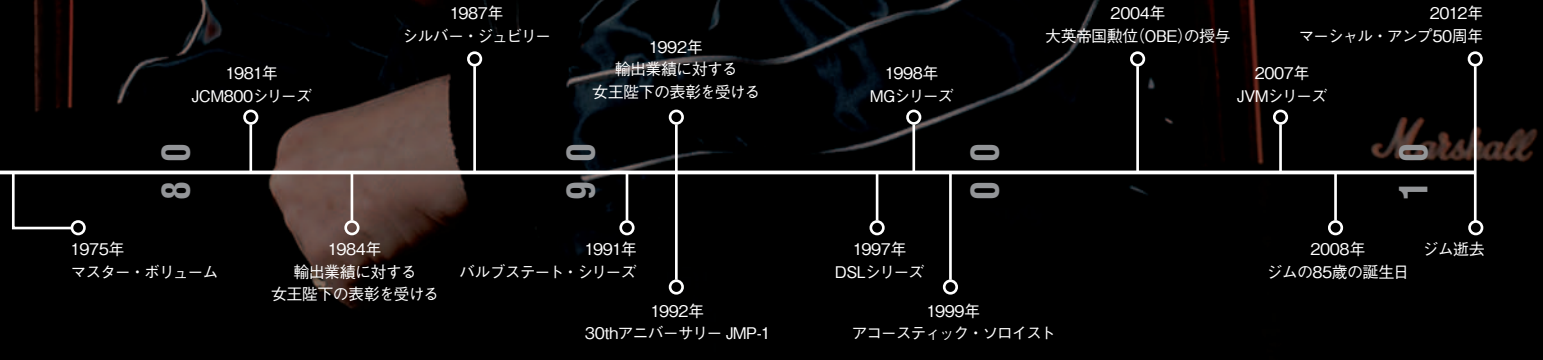
その後のことは周知のとおりです。マーシャルは世界に知られるロック・アンプ・メーカーとなり、今日もその輝かしい地位を維持しています。その間には数々の栄誉にあずかり、1984年と1992年には、輸出業績に対する女王陛下の表彰を受けました。ジムはどのようにして50年にもわたって常に最先端の製品を世に送りだしてきたのでしょうか。「ギタリストの話に耳を傾け、彼らが本当に求めているものを探り出してきた」とジムは語ります。「私の意見では、私たちの仕事の中で最も重要なものは、私たちが作ったアンプを通して演奏する人物だ。ユーザーの意見を聞かなければ、的を外すこともある。すべてがわかっている人間なんて、ひとりもいないからね」

ジムはそのキャリアを通じて、膨大な時間と資金を身体が不自由な子供や恵まれない子供に捧げてきました。「すべてはギブスに覆われて過ごした私自身の悲惨な幼少時代に端を発している」と彼は説明します。「14歳のときに心に決めたんだ。いつか十分な財産を持つようになったら、支援が必要な若い人たちの面倒をみよう。私は何も無いところから初めて成功したから、その恩返しをしているだけだよ」。ジムはその功績を認められ、2002年には音楽の名誉博士号を、2004年には大英帝国勲位(OBE)を授与されました。



ジム・マーシャル年譜







JVM410H
1960A
1960B

究極のフットコントロール機能と柔軟な接続機能

JVM4 の 6 ウェイ・フルプログラマブル・フットスイッチは、フロント・パネルのスイッチをフットスイッチに割り当てたり、Channel、Mode、Reverb、Loop、Master Volume のセッティングを記憶させたりできます（各コントロールの値は記憶できません）。チャンネルの切り換えもなめらか！ また、搭載された LED により、演奏中でも JVM の状態を確認できます。通常のギターケーブルで接続できるため、使用する環境に合わせてフットスイッチを配置することができます。



JVM4 Footcontroller

JVM410H 100W 4ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

JVM410C 100W 4ch 2x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

JVM の開発段階において、まず参考にされたモデルが 2203 と 1959 プレキシでした。それらは長きにわたり世界中の多くのギタリストに支持され続けているサウンドです。そのサウンドをベースにして改良、進化を加え過去最強のディストーションを実現し、それらすべてのサウンドを 1 台に盛り込んだのが JVM です。JVM の魅力はサウンドバリエーションだけでなく、今日のギタリストに必要な機能をすべて搭載しています。減多につかわない機能は一切排除したシンプル設計によりサウンドクオリティを向上させています。4 チャンネル・モデル（JVM4）では 100W ヘッドと 2 x 12" コンボをラインナップしました。

ロジカルなレイアウトのフロント・パネル

JVM4 にはトーン・キャラクターの異なる 4 つのチャンネルが搭載されています。そしてそれぞれのチャンネルはゲインの低い順にグリーン、オレンジ、レッドの 3 つのモードで構成されています。つまり、JVM4 の場合には 4 チャンネル x 3 モードで 12 通りのサウンドを出すことができます。それはあたかも 4 台の TSL が 1 台のアンプに詰まったような構造です。そしてそのサウンドはどこまでも澄み切った究極のクリーン・サウンド（クリーン・チャンネル / グリーン・モード）から驚異のディストーション・サウンド（OD / レッド）までを網羅しています。

Clean : ゲイン・ステージをトーンコントロールの後に配置して作り出すよどみのない余裕のクリーンを演出するグリーン・モードから、1959 をオーバードライブさせたようなレッド・モードまでシンプルにしてピュアなサウンドが魅力のチャンネルです。

JVM4 Series

その名にジム (J) と愛娘ビクトリア (V) の名前を冠したマーシャル JVM シリーズ。それはこのシリーズが次世代マーシャルを牽引するフラッグ・シップ・モデルという証です。開発にあたりマーシャルが目指したのは、「フル・バルブ回路でマルチ・チャンネル、クリスタル・クリーン・トーンから、今までのマーシャルでは聞いたこともない最強のディストーションまでをカバーし、しかも柔軟性に富み、かつ最新のテクノロジーを有する最強のアンプ」というものでした。もちろんそのサウンドは伝統のマーシャル・サウンドでなければなりません。これら高いハードルをクリアしたのがこの JVM シリーズです。そして、その開発に当たり最も大切なゴールは「出来る限りシンプルに、そしてユーザー・フレンドリーに」ということでした。

Front and Rear Panel Close-ups



FRONT PANEL FUNCTIONS

Clean ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CLEAN MODE SW
Crunch ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CRUNCH MODE SW
OD1 ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OD1 MODE SW
OD2 ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OD2 MODE SW
Master: MASTER 1, MASTER2, PRESENCE, RESONANCE, MASTER SW
Reverb: REVERB CLEAN, REVERB CRUNCH, REVERB OD1, REVERB OD2, REVERB SW
Clean/Crunch/OD1/OD2 ch 共通: FOOTSWITCH / MIDI PROGRAM SW, FX LOOP SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Serial / Parallel FX Loop: SEND, RETURN, FX LEVEL SW (+4/-10dB), MIX CONTROL
Power Amp Insert / Serial Loop: PRE-AMP OUT / SEND, POWER AMP IN / RETURN, BYPASS / ACTIVE SW
Loudspeaker Output: 16Ω 専用 OUT x 1, 1 x 4Ω / 2 x 8Ω, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω
Others: EMULATED LINE OUT x 1, MIDI IN, MIDI thru
Foot Controller: PEDL10044 x 1 (付属)



JVM410C

Crunch: グリーン・モードでは 1959 プレキシのサウンドを、オレンジ・モードでは 2203 系の歪みを、そして、レッド・モードではギタリスト垂涎の激歪み 2203 のサウンドを実現します。そして、ギターのパリュームをしぼっててください。何物にも替えがたい極太のクリーンサウンドが飛び出します。

OD1: 今まで発表されたマーシャルのオール・バルブ・ハイ・ゲイン・アンプのサウンドを思い起こしてください。例えば JCM2000 シリーズ。そして、それにディストーションが加わったサウンドを想像してください。このコシの強い歪み！これほど歪んでもピッキングニュアンスを出すことができるのはマーシャルの大きな特長です。

OD2: OD1 に若干ゲインを加え、トーン・ネットワークを組み替えド迫力のドンシャリ系サウンドをクリエイトします。これが新しいマーシャルのサウンド。マスター・セクションの RESONANCE と組み合わせるとセッティングすれば最高のヘヴィネス・サウンドを出すことができます。

仕様	JVM410H	JVM410C
プリ管	...	ECC83 x 4
パワー管	...	ECC83 x 1, EL34 x 4
実効出力	...	100Wrms
スピーカー	...	Celestion Vintage x 1, Heritage x 1
サイズ (mm)	...	750W x 310H x 215D
重量 (Kg)	...	22

JVM2 Series

JVM2シリーズは、JVM4シリーズが持つ多様性、トーンとパワーを受け継ぎ、JVM4が世界的成功を成し得ることとなったその柔軟性とサウンドの良さをそのままに、一切の妥協無しに設計されました。JVMシリーズはその開発時から、全てのギタリストの要望に1台で応えるアンプを作ることがゴールでした。JVM2シリーズは2チャンネル×3モード仕様でその幅広いサウンドを表現します。またリクエストにお応えして、3種類のコンボをラインナップしました。使用するシーンに合わせてチョイスしてください（リア・パネル上の機能はJVM4と同一です）。



JVM205H
1960A

JVM215C

JVM210H 100W 2ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD JVM205H 50W 2ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

JVM2シリーズは2チャンネル仕様でそれぞれに3つのモード（グリーン/オレンジ/レッド ※P3参照）、つまり2チャンネル×3モード=6つのサウンドが仕組みられています。

前項のJVM4の12のサウンドはどれも捨てがたいものですが、JVM2の開発に当たっては特に実用的なサウンドやマーシャルの伝統的なサウンド、そして、現在の音楽シーンに一石を投じるアグレッシブなサウンドを網羅することとなりました。そのチャンネルとは；

Clean/Crunch：JVM4のクリーン/グリーン、クランチ/オレンジ、クランチ/レッドの3モード。こちらのチャンネルでは澄み切ったクリーンから伝統的なマーシャル・クランチ、そして、2203系の図太い野生的なディストーションを得意とします。

OD：JVM2のODはJVM4のOD2チャンネルに相当します。このマーシャル・フルバルブ・モデル史上最強のディストーションが創造を絶するヘヴィ・サウンドを演出します。

JVM2ヘッドには100Wモデル（JVM210H）のほかに50Wバージョン（JVM205H）もご用意しました。JVM205HはJVM210Hと比べると、ただ単に出力が小さいだけでなく、他のシリーズ同様50W特有のまとまったサウンドが身上です。使用するシチュエーションだけでなく、そのサウンドの違いも選択の対象となります。（JVM210HとJVM205Hは出力のみ異なり、その他の機能は同一です）

JVM210C 100W 2ch 2x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

100W、2チャンネル・コンボのJVM210CはJVM410Cのシンプル・バージョンであると同時にJVM210Hのコンボ・バージョンでもあります。100Wかつ2×12"のコンビネーションがド迫力のサウンドをクリエイトします。

2×12"にはCelestionの異なるタイプのスピーカーを搭載し、Heritageでバ



JVM210H
1960A
1960B

JVM2 Footcontroller

JVM2 のフットコントローラーは4ウェイ。機能は JVM4 用のフットコントローラーと同一です。(P7 参照)

FRONT PANEL FUNCTIONS

Clean / Crunch ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CLEAN / CRUNCH MODE SW
Overdrive ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OVERDRIVE MODE SW
Master: MASTER 1, MASTER2, PRESENCE, RESONANCE, MASTER SW
Reverb: REVERB CLEAN / CRUNCH, REVERB OD, REVERB SW
Clean/Crunch, Overdrive ch 共通: FOOTSWITCH / MIDI PROGRAM SW, FX LOOP SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Serial / Parallel FX Loop: SEND, RETURN, FX LEVEL SW (+4/-10dB), MIX CONTROL
Power Amp Insert / Serial Loop: PRE-AMP OUT / SEND, POWER AMP IN / RETURN, BYPASS / ACTIVE SW
Loudspeaker Output: 16Ω 専用 OUT x 1, 1 x 4Ω / 2 x 8Ω, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω
Others: EMULATED LINE OUT x 1, MIDI IN, MIDI thru
Foot Controller: PEDL10045 x 1 (付属)

JVM210C

JVM205C

ンチを、Vintageでウォームさを出しコンボとは思えないバランスのとれたラウドなサウンドを実現しました。

JVM205C 50W 2ch 2x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

JVM210Cの50Wバージョンで、JVM205HのコンボバージョンでもあるJVM205Cは、100Wではラウド過ぎるが2x12"サウンドの分厚さが欲しいという方に最適なモデルです。

JVM215C 50W 2ch 1x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

シリーズ最小のコンボです。お話しになった途端、全身を飾りつけて鳴りまくるJVM215Cに「これで50Wか?!」と驚かれることでしょう。JVMの機能をふんだんに詰め込んで可搬性にも優れたコンポアンプの優等生です。

この1x12"コンボにはCelestion G12Bを採用し50Wでは破格の低音の鳴りを実現しています。

仕様	JVM210H	JVM205H	JVM210C	JVM205C	JVM215C
ブリ管	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4	ECC83 x 4
パワー管	ECC83 x 1, EL34 x 4	ECC83 x 1, EL34 x 2	ECC83 x 1, EL34 x 4	ECC83 x 1, EL34 x 2	ECC83 x 1, EL34 x 2
実効出力	100Wrms	50Wrms	100Wrms	50Wrms	50Wrms
スピーカー	—	—	Celestion Vintage x 1, Heritage x 1	Celestion Vintage x 1, Heritage x 1	Celestion G12B x 1
サイズ (mm)	750W x 310H x 215D	750W x 310H x 215D	690W x 510H x 265D	690W x 510H x 265D	605W x 510H x 265D
重量 (Kg)	22	17.5	34.5	29.5	26.5



DSL100H
1960A
1960B



Front Panel Close-ups

DSL15H & DSL15C FRONT PANEL FUNCTIONS	REAR PANEL FUNCTIONS
Classic Gain ch: GAIN, VOLUME, Channel Select SW	Loudspeaker Output: 16Ω 専用 OUT x 1, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω
Ultra Gain ch: GAIN, VOLUME	Power Select: PENTODE (FULL POWER) / TRIODE (HALF POWER)
Master: TONE SHIFT SW, TREBLE, MIDDLE, BASS, PRESENCE, DEEP SW	Footswitch: 15H: PEDL90003, 15C: PEDL00009
Reverb: DSL15C (有), DSL15H (無)	



DSL15C



DSL40C

JCM2000デュアル・スーパー・リード(DSL)シリーズのアンプは1997年に発売され、ギターを愛する一般の人々とマスコミの両方に歓迎され、賞賛されました。アメリカ最大のギター誌のひとつもDSL100について、「史上最高のマーシャル! モダンとビンテージ、両方のマーシャル・アンプの最高の音質と機能がひとつのパッケージに」と絶賛しました。

大成功を収めたJCM2000シリーズは、2007年にJVMシリーズに取って代われ、これも大成功を収め、非常に好評を博しました。しかし、DSLに対するあこがれと需要は今も衰えておらず、最近も英国の人気ギター誌がDSL100について、「いつでも頼りになるロック・アンプ」と称しました。「そこで皆さんのご要望にお応えし、人気の高いDSL100をベースにして、手ごろな価格で提供できる4つの新しいオールバルブ・アンプを設計するよう我が社の研究開発チームに指示しました」とジム・マーシャルは語ります。このマーシャルのミッションを実現した結果生まれたのが、100WのDSL100Hヘッド、40WのDSL40C 1x12"

コンボ、15WのDSL15C 1x12"コンボ、15WのDSL15Hヘッドです。

DSL100H 100W 2ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD
 オールバルブ(4×ECC83、4×EL34)、2チャンネルのこのパワフルなアンプは、人気を博したDSL100と同じバルブ構成と機能を再現し、以下の点をアップグレードしています: 1) レゾナンス・コントロール — オリジナルの固定式デューブ・スイッチに代わって搭載されたこのスイッチにより、お好みに応じて低音域に厚みを加えられます。2) スタジオ品質のデジタル・リバーブ — スプリング・リバーブに代わって搭載。3) リアパネルのペントード/トライオード・スイッチ — アンプの出力を50Wに下げます。4) 付属の2ウェイ・フットスイッチ — チャンネル切り替えとリバーブのオン/オフができます。
 フットスイッチで切り替えられるクラシック・ゲインとウルトラ・チャンネルには、それぞれ「クリーン/クランチ」と「リード1/リード2」の2つのモードが

2012 DSL Series

「大勢の人々からの要望により」は使い古された表現ですが、新発売のデュアル・スーパー・リード (DSL) シリーズに当てはめることができます。すばらしいオールバルブ・サウンドの4つのアンプは、驚くほど手ごろな価格でご提供されています。高い評価を得たベストセラーのJCM2000 DSL100ヘッドをベースにした新しい2012 DSLシリーズの登場です。

Front Panel
Close-up



DSL100H & DSL40C FRONT PANEL FUNCTIONS

Classic Gain ch: GAIN, VOLUME, CLEAN / CRUNCH MODE SW, Channel Select SW
Ultra Gain ch: GAIN, VOLUME, LEAD 1 / LEAD 2 MODE SW
Master: TREBLE, MIDDLE, BASS, TONE SHIFT SW, PRESENCE, RESONANCE,
Reverb: CLASSIC / ULTRA

REAR PANEL FUNCTIONS

FX Loop: SEND, RETURN, ON / OFF SW
Loudspeaker Output: 16Ω 専用 OUT x 1, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω
Power Select: PENTODE (FULL POWER) / TRIODE (HALF POWER)
Footswitch: PEDL10009

DSL15H
1960A



仕様	DSL100H	DSL15H	DSL40C	DSL15C
プリ管	...	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 3
パワー管	...	ECC83 x 1, EL34 x 4	ECC83 x 1, 6V6 x 2	ECC83 x 1, 6V6 x 2
実効出力	...	100Wrms	15Wrms	40Wrms
スピーカー	...	—	Celestion Seventy 80 x 1	Celestion G12E-60 x 1
サイズ (mm)	...	741W x 274H x 242D	500W x 240H x 235D	621W x 490H x 252D
重量 (Kg)	...	24.2	10.2	22.85

あります。これらのモードにより、プレキシ・スタイルの美しいクリーンから、JCM800の雄叫び、2203をホットロッド (改造) したようなハイゲイン・リードまで、幅広いサウンドを実現します。共有の5バンドEQセクション (トレブル、ミドル、ベース、レゾナンス、プレゼンス) の柔軟性は、モダンなメタルに最適のミッド・シフト・ボタンにより、さらに高められています。

リアパネルのシリーズ・エフェクトループ (オン/オフ・スイッチでバイパス可能) も、プロ仕様のDSL100Hの柔軟性を高めています。また、ペントード (フル・パワー) / トライオード (ハーフ・パワー) ・スイッチにより、パワーアンプの出力を50Wに落とすことができます。さらには、アンプの音質も変わり、トライオード・モードではスムーズでアグレッシブさを抑えたサウンドになります。

DSL40C 40W 2ch 1x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

頑丈で、ギグにすぐ使えるDSL40Cは、40Wの働き者で、EL34パワー管2本、セレクション・スピーカー、そしてDSL100Hと同じフロントパネルおよびリア

パネル機能が搭載されています。トライオード (ハーフ・パワー) のオプションにより、DSL40Cの出力は半分の20Wになります。

DSL15C 15W 2ch 1x12 DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

コンパクトな15Wのオールバルブ1x12" コンボのDSL15Cには、6V6/パワー管2本とセレクション・スピーカーが搭載されています。フットスイッチで切り替えられるクラシック・ゲインとウルトラ・ゲインの2つのチャンネルは、EQネットワークと低音域に厚みを加えるディープ・スイッチを共有しています。同シリーズの大きめのアンプと同様に、フットスイッチで切り替えられるデジタル・リバーブはスタジオ品質で、ペントード/トライオード・スイッチで出力を7.5Wに落とせます。

DSL15H 15W 2ch VALVE AMP HEAD

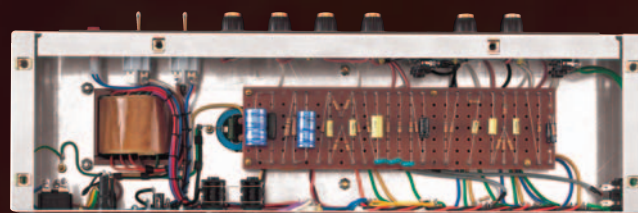
小型ながらパワフルで質実剛健なDSL15Hの機能は、リバーブを除いてはDSL15Cと同一で、パワフルなトーンを持ち運びやすい形でご提供します。

Handwired Series

現在ではコレクターズ・アイテムとして入手困難な伝説の名機が、ジム・マーシャル自身の強いサジェスションによりハンド・ワイヤード・アンプとして復活しました。当時のアンプの全ての構成要素を膨大な時間と労力を費やして研究、サーキット、組み立て方、材質、スペック、外観、シグナル・パス、高い性能、トーン・キャラクターやフィールなどを限りなく当時のままに再現しました。実際に当時の部品や素材を探し出しその関係性を分析することで、かねてからの製造法を復活、ハンド・ワイヤードのタグボードや、オーダーメイドの出力トランスと電源トランスの採用などにより、全てにおいて一線を画する高性能なリイシュー・モデルが完成しました。伝説を文字通り体現する絶品のサウンド、究極のマーシャル・アンプをここに自信を持ってお届けします。



Top Panel
Close-up



EZ81 整流管
EL84 パワー管
ECC83 (12AX7) プリ管

Chassis

1974X 18W 2ch 1x12 HANDWIRED VINTAGE VALVE COMBO

1974CX 1x12 HANDWIRED VINTAGE SPEAKER CABINET (受注生産)

1966年から1968年にかけて製造され人気を集めたとてもコンパクトなコンボ・アンプです。非常にシンプルなコントロールや仕様、回路構成ながら、抜群のサウンドとフィールを誇ります。音量を上げた時のサウンドは絶品で、その表情の豊かさと音の太さに目をみはるでしょう。そして音量を下げた時の厚みのある独自のクリーン・トーンもこのアンプならではのものです。ピッキングのダイナミクスに対するレスポンスが非常に良いため、音量をディストーションに入るギリギリのところを設定すると、力強くピッキングした時には気持ちの良い歪みを生みだし、アタックを控えめにすれば美しいクリーンになります。

搭載スピーカーは、セレクションの技術者がこのアンプのためにビンテージ・スピーカーのパラメーターを調べ上げ、再現しました。コーンの素材を厳選、磁力を当時の物と一致させるなど、特別なエージングを施してリイシューされたセ

レクション・スピーカーは、パンチがきいていながらスムーズという、このコンボのユニークなサウンドに大きく寄与しています。当時のままに真空管で駆動するトレモロはかかりが良く、鮮やかで美しいビンテージ・トレモロを再現、ダイカスト製のフットスイッチでオン・オフが可能です。1974Xと同じルックスのエクステンション・キャビネット、1974CX (受注生産) を併用すればさらに厚みと奥行きが増した、迫力のビンテージ・サウンドが甦ります。

TOP PANEL FUNCTIONS

ch 1: TONE, VOLUME ch 2: TREMOLO SPEED, TREMOLO INTENSITY, TONE, VOLUME

BOTTOM PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), FOOTSWITCH JACK for TREMOLO

Chassis

2061X
2061CXFront Panel
Close-up

仕様	1974X	1974CX	2061X	2061CX
整流管	EZ81 x 1	—	—	—
プリ管	ECC83 x 3	—	ECC83 x 2	—
パワー管	EL84 x 2	—	EL84 x 2	—
実効出力	18Wrms	—	20Wrms	—
許容入力	—	20Wrms	—	60Wrms
スピーカー	Celestion G12M-20	Celestion G12M-20	—	Celestion G12H-30 x 2
サイズ (mm)	610W x 508H x 226D	610W x 508H x 226D	510W x 208H x 206D	643W x 643H x 300D
重量 (Kg)	19	14	10	24.0

2061X 20W 2ch HANDWIRED VINTAGE VALVE AMP HEAD

2061CX 2X12 HANDWIRED VINTAGE SPEAKER CABINET (受注生産)

2061Xヘッド・アンプ (リード&ベース20) は、1960年代の終わりから1970年代の初めにかけて製造されました。1974X同様、今や市場では入手困難なモデルのリイシューです。整流管を搭載した1974Xとは異なり、シリコン・ダイオード整流装置の搭載により、アグレッシブで驚くほどモダンなサウンドでありながら、あの特徴ある理想的なビンテージのオール・バルブ・トーンを誇ります。まさに現代のニーズにも応えるサウンドを持つての復活です。フロント・パネルの素材はプレシキグラスを採用した1974Xとは異なり、綿密な時代考証の下、表面にブラシをかけて仕上げたゴールドのアルミを採用しています。

2061CXは、このヘッド・アンプとベスト・マッチするスピーカー・キャビネットです。搭載された2本のセレクション・スピーカーにはヘビー・グレード・ワ

イヤを使用、ハンド・ワイヤードによりモノジャック・コネクタに接続されています。フレットクロスは“ソルト&ペッパー”と呼ばれる仕様が採用されています。2061Xヘッドと繋ぐことにより、この組み合わせ以外では不可能と思われる、極めて表情豊かにマッチングした独自のサウンドが得られます。

FRONT PANEL FUNCTIONS

Lead ch: TONE, VOLUME

Bass ch: TONE, VOLUME

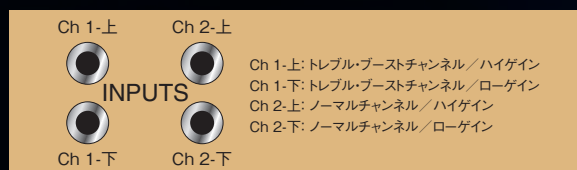
REAR PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2

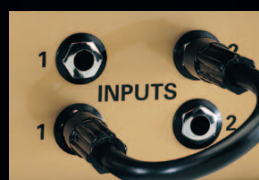
Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω)



1959SLP
1960AX
1960BX



Ch 1-上: トレブル・ブーストチャンネル / ハイゲイン
Ch 1-下: トレブル・ブーストチャンネル / ローゲイン
Ch 2-上: ノーマルチャンネル / ハイゲイン
Ch 2-下: ノーマルチャンネル / ローゲイン



Front & Rear Panel Features

1959SLP & 1987X FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, LOUDNESS 1 (HI TREBLE), LOUDNESS 2 (NORMAL)

REAR PANEL FUNCTIONS

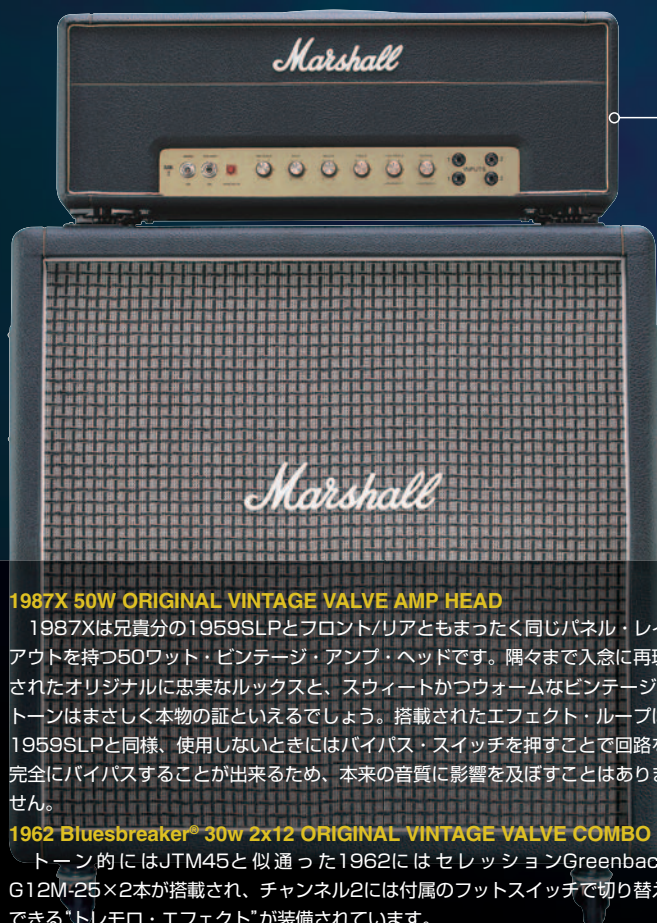
Effect Loop: SEND, RETURN, LEVEL SW (+4 / -10dB), BYPASS / ACTIVE SW

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), MAINS SELECTOR

1959SLPと1960AXまたはBXとの1対1の組み合わせで大音量、長時間使用される場合、スピーカーの規格に対して過剰入力となり、スピーカーを損傷する恐れがありますので充分にご注意ください。3段スタックで使用される場合はスピーカー損傷の恐れはほとんどありません。

また、アンプ故障の大きな原因となりますので、アッテネーターを使用される場合には過度なアッテネーション(アンプをフルボリュームにして、アッテネーターで極端に音量を下げる等)をしないでください。



1987X
1960AX

1959SLP 100W ORIGINAL VINTAGE VALVE AMP HEAD

1959は60年代末に製造を開始して以来、様々な回路的・外観的改良が加えられてきましたが、なかでも「60年代末から70年代初頭に製造されたモデルが最高!」というのがマーシャル信者達の一致した意見です。この時代のモデルに特有のすばらしいトーンとベルベットのよう滑らかに豊かなオーバードライブに満ちたサウンドを見事に再現した完璧な複製版がこの1959SLPです。チャンネル・リンクによる多彩なトーン作りが可能で、さらにエフェクト・ループも搭載し、多彩なサウンド作りを可能にしました。

1960AX / BX 4x12 ORIGINAL VINTAGE SPEAKER CABINETS

セレクションGreenback G12M-25を4本搭載し、ビンテージ・スタイルのビニール・レザーとオールド・ルックスのチェック模様のフレットクロスを採用し、サウンド、ルックスともに1959SLP/ 1987Xにピッタリです。

1987X 50W ORIGINAL VINTAGE VALVE AMP HEAD

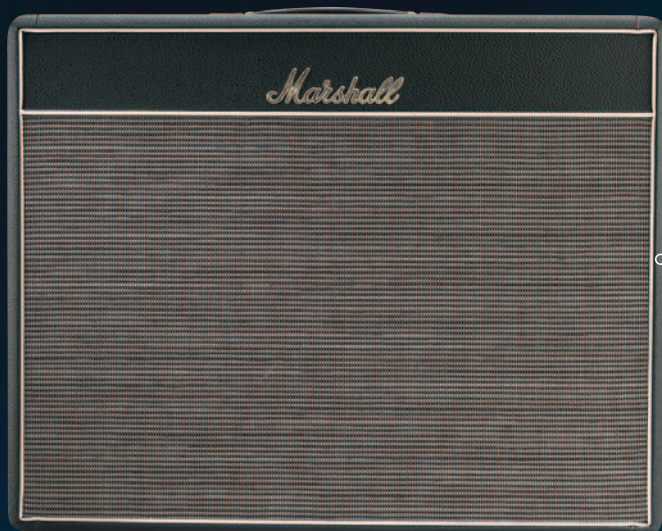
1987Xは兄貴分の1959SLPとフロント/リアともまったく同じパネル・レイアウトを持つ50ワット・ビンテージ・アンプ・ヘッドです。隅々まで入念に再現されたオリジナルに忠実なルックスと、スイートかつウォームなビンテージ・トーンはまさしく本物の証といえるでしょう。搭載されたエフェクト・ループは1959SLPと同様、使用しないときにはバイパス・スイッチを押すことで回路を完全にバイパスすることが出来るため、本来の音質に影響を及ぼすことはありません。

1962 Bluesbreaker® 30W 2x12 ORIGINAL VINTAGE VALVE COMBO

トーン的にはJTM45と似通った1962にはセレクションGreenback G12M-25×2本が搭載され、チャンネル2には付属のフットスイッチで切り替えできる“トレモロ・エフェクト”が装備されています。

Vintage Re-issue

マーシャルは1962年、時の音楽のニーズに呼応するべくビート・タウンゼンド他の協力のもとJTM45を開発、その産声を上げました。エリック・クラプトンのリクエストによって生まれたのがそのコンボ・バージョン1962です。その後、ロックの大音響化にともない100Wのアンプを開発 (JTM45/100)。その発展系が1966年に発表された1959です。これらのモデルが60年代後半から70年代に大活躍し、ロックの歴史の1ページに名前を刻んだことは疑いようのない事実です。マーシャルはこれらの歴史的遺産を後世へ受け継ぐべく、現在でもこれらのモデルの生産を行っています。どんなに音響技術が発展しても、これら歴史的楽器のサウンドを完全に真似することは不可能でしょう。なぜならそこにはマーシャルだけがなし得た真のオリジナル・サウンドが詰め込まれているからです。



1962 Bluesbreaker®

Bluesbreaker®
Origins

*この1962は、エリック・クラプトンが“John Mayall & the Bluesbreakers with Eric Clapton” (通称“Beano” Album) のレコーディングに用いたことから、“ブルースブレイカー”というニックネームで親しまれるようになりました。

1962 TOP PANEL FUNCTIONS

Function: TREMOLO SPEED, TREMOLO INTENSITY (ch 2 only), PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, VOLUME 1, VOLUME 2

BOTTOM PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω), FOOTSWITCH JACK for TREMOLO
Footswitch: PEDL10008 x 1 (付属)

2245 (JTM45)
1960TV

Front Panel
Close-up



2245 (JTM45) FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, LOUDNESS 1 (HI TREBLE), LOUDNESS 2 (NORMAL)

REAR PANEL FUNCTIONS

Outputs: SPEAKER OUT x 2

Others: OUTPUT SELECTOR (4, 8, 16Ω)

2245 (JTM45) 30W ORIGINAL VINTAGE VALVE AMP HEAD

2245はオリジナルのJTM45と同様に整流管としてGZ34を搭載したことにより、JTM45の鋭く透明なクリーントーンと滑らかでウォームなサスティーンを忠実に再現することができました。

1960TV 4x12 ORIGINAL VINTAGE SPEAKER CABINET

1960TVの“TV”はTall Vintageの略。すなわち、標準的な1960より3インチも背が高く、オリジナルのフレットクロスも再現、スピーカーには1960AX/BXと同じセレッションGreenback G12M-25 × 4本を搭載しています。

仕様	1959SLP	1987X	2245	1962
整流管	—	—	GZ34 x 1	GZ34 x 1
プリ管	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 3	ECC83 x 4
パワー管	EL34 x 4	EL34 x 2	5881 x 2	5881 x 2
実効出力	100Wrms	50Wrms	30Wrms	30Wrms
スピーカー	—	—	—	Celestion Greenback x 2
サイズ (mm)	750W x 260H x 210D	660W x 260H x 205D	660W x 260H x 205D	740W x 610H x 265D
重量 (Kg)	20.5	15.3	14.6	30.2

仕様	1960X	1960TV
スピーカー	Celestion G12M-25 x 4	Celestion G12M-25 x 4
許容入力	100Wrms	100Wrms
インピーダンス	16Ω	16Ω
サイズ (mm)	760W x 830H x 360D	760W x 910H x 380D
重量 (Kg)	Angled A: 37.7 Base B: 38.2	39

Joe Satriani Signature JVM410HJS

最近、ギター誌によって「シュレッドのCEO」と称されたジョー・サトリアーニは、卓越した革新的なギター演奏を愛する人々にとっては、言わずと知れた大御所です。彼の20年以上にわたる先駆者としての華々しいキャリアが何よりの証拠です。マーシャルが自信を持って世に送り出すジョー・サトリアーニ・シグネチャー・モデルは、細部にまで気を配って開発され、サトリアーニ自身によってスタジオとツアーの両方で徹底的にテストされた末に誕生しました。



JVM410HJSには、他のJVMシリーズ同様自在にプログラミングができる6ウェイのフットスイッチが付属しています。フットスイッチは標準的な1/4"ギターケーブルでアンプに接続できます。特許出願中の革命的な技術により、6つのフットスイッチに以下の機能のいずれかをプログラミングできます。

1. スイッチ保存。アンプのフロントパネルにある以下の8つのスイッチのうちの1つを操作します：
各チャンネルのチャンネル選択/モード、ノイズ・ゲート（オン/オフ）、マスター・ボリューム（1または2）、エフェクトループ（オン/オフ）またはミッド・シフト（オン/オフ：OD1 & OD2チャンネル）。
2. プリセット保存。事前に選択・保存した以下のフロントパネルのスイッチの組み合わせを呼び出します：チャンネル&モード、ゲート（オン/オフ）、ミッド・シフト（オン/オフ：OD1 & OD2チャンネル）、マスター（1または2）、エフェクトループ（オン/オフ）。

一列に並んだマルチカラーのLEDにより、アンプの現在のチャンネル/モードおよびスイッチの設定が一目でわかります。

FRONT PANEL FUNCTIONS

Clean ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CLEAN MODE SW
Crunch ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, CRUNCH MODE SW
OD1 ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OD1 MODE SW
OD2 ch: VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, GAIN, OD2 MODE SW
Master: MASTER 1, MASTER2, PRESENCE, RESONANCE, MASTER SW
Reverb: REVERB CLEAN, REVERB CRUNCH, REVERB OD1, REVERB OD2, REVERB SW
Clean/Crunch/OD1/OD2 ch 共通: FOOTSWITCH / MIDI PROGRAM SW, FX LOOP SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Serial / Parallel FX Loop: SEND, RETURN, FX LEVEL SW (+4/-10dB), MIX CONTROL
Power Amp Insert / Serial Loop: PRE-AMP OUT / SEND, POWER AMP IN / RETURN, BYPASS / ACTIVE SW
Loudspeaker Output: 16Ω 専用 OUT x 1, 1 x 4Ω / 2 x 8Ω, 1 x 8Ω / 2 x 16Ω
Others: EMULATED LINE OUT x 1, MIDI IN, MIDI thru
Foot Controller: PEDL10055 x 1 (付属)

JVM410HJS Footcontroller



仕様	JVM410HJS
アンプ管	ECC83 x 4
パワー管	ECC83 x 1, EL34 x 4
実効出力	100Wrms
サイズ (mm)	750W x 310H x 215D
重量 (Kg)	22

JVM410HJS 100W 4ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

「ギター・ワールド」誌の名誉ある年間読者投票で、またしても「ベスト・シュレッター」に選ばれたジョー・サトリアーニの人気は、かつてないほどに高まっています。ご存知かもしれませんが、サトリアーニにとってマーシャルは縁の深いブランドです。そして、「Not Of This Earth」というすばらしいデビュー・ソロ・アルバムでギター界をあととまで言わせてから四半世紀がたった今、ジョー・サトリアーニとジム・マーシャルの2人のサインがツヤ消しゴールドのフロントパネルを飾るマーシャル・アンプがリリースされました。このすばらしいアンプが誕生したきっかけについて、ジョーが語りました。「またマーシャル・アンプに通じて演奏できるようになって、すごくうれしく思っている。チキンフットの'09ヨーロッパ・ツアー以来、マーシャル・サウンドのクールな要素をたくさん再発見しているんだ。2枚のアルバムと何度かの世界ツアーでプロトタイプを使ってきて、今、僕のシグネチャー・モデルの100W JVM410が完成した！ 4つのチャンネルそれぞれに3つのモードがあ

り、4つの独立したノイズ・ゲートとエフェクトループを備えた、想像を超えるほど応用が利く万能のアンプだ。本当にすばらしいサウンドのアンプだよ」

ジョーのシグネチャー・アンプは、JVM410Hをベースにしたもので、100%「サトリアーニ化」されています。4つの独立したノイズ・ゲート（リバーブの代わりに、各チャンネルに1つずつ）と、フットスイッチで切り替えられるミッド・シフトをOD1とOD2チャンネルに搭載したことに加え、ジョーは（研究開発のエキスパートとして、ケリー・キング、イングヴェイ・マルムスティーン、スラッシュ AFDシグネチャー・ヘッドを手がけた）マーシャルのエンジニア：サンティアゴ・アルヴァレスと多くの時間を過ごし、各チャンネルとモードのボイスを調整しました。その結果、クリーン・モードはいつでも6100と非常に似通ったものになり、4つ目のチャンネルのOD2は、「サトリアーニ化」されたOD1チャンネルを再現したものになりました。「これほどパンチが効いたエキサイティングなアンプで演奏したのは初めてだ」とジョーが言うのも当然と言えるでしょう。

Marshall

Slash Signature

【Slashのメッセージ】「僕にとってこのSL-5は、AFD100のエッセンスを最大限ポータブルなバルブアンプに詰め込んだものだ。見た目は小さいけど、最高にパワフルだし、そのトーンは100%混じり気のないAFDサウンドだ。いくらカッコイイとは言っても、Marshallのスタックを自宅で使うのは実際的じゃない。そんな時はこのSL-5が理想的だ。レコーディングや作曲、バックステージでのウォーミング・アップにもぴったりだよ。片手で持ち運べるし、5Wattでも音量が大きすぎたら、1Wattに下げられる。そうすれば、あの独特のMarshallバルブ・トーンを全開にしても近所の人に警察を呼ばれる心配はないからね(笑)。」

Front Panel
Close-up



Power
Select SW

仕様	SL-5
プリ管	… ECC83 x 3
パワー管	… EL34 x 1
実効出力	… 5Wrms
スピーカー	… Celestion Vintage 12 x 1
サイズ (mm)	… 495W x 510H x 290D
重量 (Kg)	… 21

SL-5 5W 2ch DIGITAL REVERB VALVE AMP COMBO

SL-5は、Slash自身が設計＆開発段階から深く関わり、最終的にサウンド・チューニングされた2chプリアンプ (Clean/Overdrive) と5Watt ClassA/パワーアンプで構成され、プリアンプのchは付属のフットスイッチで切り替えることが可能です。フロントパネルには、トレブル/ミドル/ベース/プレゼンスのEQコントロールを装備し、フットスイッチでオン/オフ可能なスタジオ品質のデジタル・リバーブも装備しています。また、さらに柔軟な音作りを可能にするためインプットはビンテージのマーシャル・アンプと同様に2インプットを採用しています。

スピーカーには、Slashの唯一無二のロック・スタイルに合わせVintage30を採用。それにより厚みのあるウォームなサウンドを実現しています。また、リアパネルのパワースイッチにより出力を5Watt→1Wattにまで落とすことが可能で、音量を抑えるだけでなく、サウンドとフィールを変えることが可能です。

FRONT PANEL FUNCTIONS

Clean ch: VOLUME, CLEAN / OVERDRIVE CHANNEL SELECT SW
Overdrive ch: GAIN, VOLUME
CH共通EQ: TREBLE, MIDDLE, BASS, PRESENCE
Reverb: REVERB ON / OFF SW

REAR PANEL FUNCTIONS

Loudspeaker Outputs: 1 x 8Ω / 1 x 16Ω
Others: POWER SELECT SW (5W / 1W)

1960DM Dave Mustaine Signature

ウエスト・コースト・スラッシュ・メタルの重鎮として、80年代初頭より確固たる地位を築き、ロック史に名を残すであろうメガデスのフロントマン、デイヴ・ムステイン。マーシャルは彼の業績に敬意を表しシグネチャー・スピーカー・キャビネットを製作しました。スラッシュに始まったマーシャルのシグネチャー・モデルたち…。その中でも1960DMは初めてのシグネチャー・キャビネットです。ステージで異彩を放つメタルなルックスと大地を切り裂く凶暴なトーンは、マーシャル・キャビネットの伝統を受け継ぎつつ新しい次元へと導くマイルストーンです。この発売に併せ、1960DMのルックスにベストマッチするカーボン・ファイバー・テイストのカバリングを使用したJVMアンプ・ヘッドも発売しました。



JVM410HCF
(受注生産)

1960ADM/BCM
(受注生産)

仕様	1960ADM	1960BDM
スピーカー	Celestion G12V-30 x 4	Celestion G12V-30 x 4
許容入力	280Wrms	280Wrms
インピーダンス	8Ω: STEREO, 16/4Ω: MONO	8Ω: STEREO, 16/4Ω: MONO
サイズ (mm)	770W x 755H x 365D	770W x 755H x 365D
重量 (Kg)	43	44

JVM410HCF 100W 4ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

JVM210HCF 100W 2ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

JVM205HCF 50W 2ch DIGITAL REVERB VALVE AMP HEAD

(外観以外の仕様はJVM4、JVM2と同様)

1960ADM/BDM 4x12 SIGNATURE SPEAKER CABINET

1960DMの製造は他のキャビネット同様、1台ずつイギリス工場の木工工程において熟練のクラフツマンが専用の工具や設備を使用し木材を切り出し、そして組み立てるところから始まります。トップ、サイド、ボトムそれぞれの材がフィンガー・ジョイントと特殊なボンドを用いて組み上げられ、高周波プレスにかけられ、ボンドが高周波によって凝固される間にプレス機は組み立てが正確になされているかを厳密にチェック、過酷な環境に耐えうるかどうかを精査します。その後、製品にはバッフル板が取り付けられサンドがかけられます。次の工程はカバリング・セクションで、下地にカーボン処理をした後、カバリングが施されます。

デイヴ自らが選んだこれまでにどのキャビネットにも使用されたことのないカーボン・ファイバーを連想させるカバリング地が1960DMの頑丈さをアピール。このカバリング工程は工場の中でもっとも熟練を要する作業です。手作業によってカットされ、キャビネットに接着されます。仕上げの工程は、配線、ハンドルやコーナー・ガードの取り付け、ダイヤモンド・パンチが施されたキック・グリルなどを取り付け1960キャビネットの体裁に整えることです。マーシャル・ロゴや1960DMだけのシルバー・シグネチャー・プラークも取り付けられます。そして、肝心なスピーカーが取り付けられるのもこの行程です。デイヴのサウンドを聴けばわかるようにスピーカーは非常に重要なものです。1960DMの開発にはさまざまなタイプのスピーカーが試されました。それぞれの轟音は素晴らしいものでしたが、タイトさと音のまとまりという点でデイヴはCelestion G12V-30を選びました。骨をも砕くそのサウンドはレスポンスにも優れ、ここに衝撃の280Wキャビネットが誕生したのです。

JCM800 Series

'80年代のハードロック／ヘビーメタル・シーンを支えた伝説の名器、JCM800 シリーズ 2203。ビンテージ・アンプから受け継がれた伝統的トーン・コントロール構成+マスター・ボリュームという、シンプルかつ機能的なスタイルから生み出されるストレートなマーシャル・サウンドは、かのザック・ワイルドをはじめ、今なお多くのギタリストから熱烈な賞賛を受け続けています。



2203
1960A



Effects Loop



この復刻モデルでは、新たにエフェクト・ループを搭載。バイパス・スイッチを押すことでループ回路を完全にバイパスすることも出来ます。



2203 100W VALVE AMP HEAD

2203 はマーシャルの長い歴史において、最もリスペクトされてきたオール・バルブ・ヘッドです。伝説のプレキシ・ヘッドから進化し、マーシャル史上初めてマスター・ボリュームを装備しました。1チャンネルでリバーブもビルトイン・エフェクトもないシンプルそのものの設計。極めて簡潔なフロント・パネル仕様、強烈なパンチ力を誇るサウンドはすぐにロック・アンプの基準になりました。2203 を使用するアーティストは今なお多く、たくさんのリクエストに応じて再びラインナップにカムバックしました。また、エフェクト・ループも新たに採用することで使い勝手も格段に向上しています。

仕様	2203
プリ管	... ECC83 x 3
パワー管	... EL34 x 4
実効出力	... 100Wrms
サイズ (mm)	... 748W x 297H x 214D
重量 (Kg)	... 21

FRONT PANEL FUNCTIONS

Function: PRESENCE, BASS, MIDDLE, TREBLE, MASTER VOLUME, PRE-AMP VOLUME, INPUT (HIGH / LOW)

REAR PANEL FUNCTIONS

Effect Loop: SEND, RETURN, LEVEL SW (+4 / -10dB), BYPASS / ACTIVE SW

Outputs: LOUDSPEAKER OUT x 2

Others: MAINS SW, IMPEDANCE SELECT SW (4 / 8 / 16Ω)

Rack Mountable Power Amps

冷蔵庫ほどの大きさがあるラックの全盛期は、80年代末から90年代初めでしたが、デフトーンズからデフ・レバード、メイデンからメガデスまで、世界を股にかけて活躍するプロの多くが、今もこれに絶大な信頼を置いています。これらのラックの中核にはすべてバルブを搭載した英国製のマーシャル・パワーアンプがあり、ハーモニー豊かなトーンを生み出しています。



FRONT PANEL FUNCTIONS

Per Channel: GAIN, PRESENCE, VOICE A/B

REAR PANEL FUNCTIONS

Per Channel: INPUT, SPEAKER OUT, LINE OUT, INPEDANCE SELECT SW (8/16Ω), FOOTSWITCH JACK for VOICE

Footswitch: PEDL10008 (別売)



EL34 100/100 100+100W STEREO VALVE POWER AMP (受注生産)

マーシャルのEL34を搭載したパワー・ステージは、50年にもわたって大勢のプレイヤーに「業界標準」として認められてきました。100W + 100Wで、ラック・スペース3つに収まるEL34 100 / 100パワーアンプは、クラシックなバルブ・トーンをステレオで提供します。高価なハイファイ版と同様に、100 / 100はデュアル・モノブロック・アンプで、各100Wのステレオの両サイドは、それぞれにモノ・ユニットとして独立しています。

A & Bの2つのチャンネルは、それぞれに独立したゲインとプレゼンス・コントロールを備えています。また、どちらのチャンネルにもリモートで切り替えられるボイス・スイッチがあり、「トラディショナル」(ボイスA)から「モダン」(ボイスB)に切り替えられます。さらに、両方のチャンネルで2つのボイスをミックスすることもできます。マーシャルの特殊技術「トルー・ディフェレンシャル・インバーター」により、完全に純粋なバルブ・トーンが常に保たれ、非常に重要

で魅力的なバルブのオーバードライブとコンプレッション・エフェクトを完全な状態で維持します。このプロ仕様のオールバルブ・ユニットは、厳しいワールド・ツアーにも耐え、最高に魅力的なルックスとサウンドを提供するように設計されています。

仕様	EL34 100/100
パワー管	... EL34 x 8
ブリッドライバー	... ECC83 x 2
フェイズインバーター	... ECC81 x 2
実効出力	... 100 + 100Wrms
サイズ (mm)	... 485W x 135H x 330D (19" x 3U)
重量 (Kg)	... 20.5

*モノラル200W使用はできません。

*現在はフロント・パネルの素材がスチールに変更されています。

Extension Cabinets

マーシャルの壁ほどロックのイメージを漂わせるものはないでしょう。かつて幾多のコピーが出回ったことでしょうか？ しかし、オリジナルに比肩し得るものはありません。世界初の4×12"キャビネットは1962年にジム・マーシャルの手によって生み出され、その瞬間に伝説が誕生したのです。それ以来マーシャルは何千ものキャビネットを製造し、それらは地球上のあらゆるステージで活躍してきました。よいギター・サウンドを得る上で、音の最終出口のスピーカー・キャビネットは重要で、これを軽視することはナンセンスです。マーシャルは長年のノウハウを生かした個性豊かなキャビネットを取り揃えています。あなたのギタープレイにもっとも適したキャビネットを選んでください。

AキャビかBキャビか？

マーシャル3段積みは、ピート・タウンゼンドが依頼した巨大で取り回しの悪い8×12"を上下2つに分けることで、アングルのついたAキャビネット（Aキャビネットの"A"は"Angled"の"A"）とアングルのついていないBキャビネット（Bキャビネットの"B"は"Base"の"B"=下段に使用していたから）という形になったことで誕生しました。

これら2つのキャビネットはAもBも同じ12インチ・スピーカーが4台搭載されていますが、出てくる音は若干異なります。一般的にAキャビネットはスピーカー2台が上を向いているため音に広がりがあり、にぎやかな感じがあります。また、遠くまで音が届く性質があります。一方、Bキャビネットはアングルがついていないため、Aキャビネットより質量が大きく、スピーカーが4台ともほぼ正面を向いていること（若干角度が付いています）により中低域が引き締まった聞こえ方がします。

この2つの傾向はすべてのA&Bキャビネットに共通です。ハーフ・スタック（2段積み）のキャビネットはAキャビと決まっているわけではありません。用途と好みを考えてAかBかをお選びになってください。

スピーカーの数とキャビネットの大きさ

搭載されているスピーカーの数は音質を左右する重要な要素です。同じワットレージのヘッドで鳴らし比べた場合、スピーカーの数が多い方がより大きい音圧感を得ることができます。ピート・タウンゼンドが8×12"のアイデアを出したのもうなずけます。また、音圧感が増大するだけでなく、音の広がり感も増します。

また、スピーカーを納めるキャビネットの大きさも音質に影響を与えます。寸法が大きいほど低音が出やすく、例えば、同じスピーカーを4台搭載している1960AXとキャビネットサイズの大きい1960TVを比較した場合、1960TVのほうが低音が出やすくなっています。

マーシャルの2×12"（1936、1922など）、1×12"（1912など）は4×12"キャビネットに比較すればスピーカーの数もキャビネットの大きさも小規模になりますが、音圧感も低音の出方も想像を超えるものがあります。

スピーカーの種類

キャビネットのサイズや構造が同じでもスピーカーの種類が異なれば当然音質も変わってきます。

ワールド・スタンダードなキャビネット1960に搭載されているCelestion G12T-75は高域と低域が際立った幾分ドンシャリ気味のサウンドを演出します。また1960Xに搭載のCelestion Greenbackのリイシュー、G12M-25は粘っこい中域とワイルドな高域が魅力です。人気のCelestion Vintageは高域から低域までバランスの取れたサウンドを持ち、高域が抜けるサウンドです。このように目的にあったスピーカーが搭載されたキャビネットを選択することが肝要です。

入力について

搭載されているスピーカーの種類と数によって許容入力が異なります。ご使用のアンプにマッチしたキャビネットをご使用ください。

フルバルブ・アンプを大音量で使用する場合、キャビネットの入力は最低でもアンプの出力の2倍の容量を確保しておくべきです。フルバルブ・アンプは弾き方によってピーク時には定格出力をはるかに超えた信号をキャビネットに送り出すことがあるからです。例えば、1959SLP（出力100W）を1960AX（入力1台）につないで大音量で弾いた場合、過入力によりスピーカーを損傷する恐れが十分にありますが、この場合は、スピーカー・キャビネットを増設して（3段積みにして）入力を分散させるか、ボリュームを絞ってお使いください。アッテネーターを使用するのものとつ方法ですが、もしご使用になる場合は、マーシャルの場合、未使用時の音量と比較して聴感上半分程度音量を下げる程度に留めておいてください。アッテネーターはマスター・ボリュームではありません。極端なアッテネーションはアンプを傷める大きな原因となりますので絶対に避けてください。

トランジスタ・パワー・アンプの場合（MG等）は定格出力以上の信号はキャビネットに送り出されないので出力通りの入力のキャビネットをご用意いただけます。

インピーダンス・マッチング

スタックを組む場合、インピーダンス・マッチングが非常に大切です。誤って使用すると音質が低下するばかりでなく、アンプやスピーカーを損傷することがありますのでご注意ください。

●フルバルブ・ヘッドの場合

使用するキャビネットが1台の場合は、キャビネットの入力インピーダンスと同値の出力で結線します。例えば1960キャビネットを1台使用する場合、1960の入力インピーダンスは16Ωですから、アンプ側も16Ωのスピーカーアウト端子か

ら出力します。8Ωキャビネットが1台の時は当然8Ωで出力します。ピンテージ系のヘッドを除き、基本的にマーシャルのアンプ・ヘッドは16Ωで使用することをおすすめしています。

それでは、フル・スタックのように同じ入力インピーダンスのキャビネットを2台同時に使用する場合はどうすればよいのでしょうか？ この場合は、「キャビネットの入力インピーダンスを使用するキャビネットの数で割った値で出力する」という公式があります。すなわち、16Ωキャビネットを2台使用する場合、 $16 \div 2 = 8\Omega$ となります。8Ωで双方のキャビネットに出力してあげてください。異なったインピーダンスのキャビネットを混合して使用する場合にはこの公式は適用されませんのでご注意ください。

●トランジスタ・ヘッドの場合（MGシリーズ、MBシリーズ等）

トランジスタ・ヘッドとキャビネットのインピーダンス・マッチングの方法もフル・バルブ・ヘッドの場合と同様ですが、1つ注意すべきことがあります。

フル・バルブ・ヘッドの場合は、前述の通り使用するキャビネットのトータル・インピーダンスにヘッドのインピーダンス値を合わせて使用しますが、トランジスタ・ヘッドの場合には、「キャビネットのトータル・インピーダンス値が、トランジスタ・ヘッド側で予め設定されているMin（ミニマム）インピーダンス未満にならないこと」という鉄則があります。

例えば、スピーカー出力ジャックを2つ備え、Minインピーダンス値が4Ωであるトランジスタ・ヘッドに、インピーダンス値が4Ωのキャビネットを接続する場合を考えてみましょう。

①キャビネットを1台接続して使用する場合

この場合のキャビネットのトータル・インピーダンスは4Ωですので、ヘッドのMin値以上のインピーダンスとなるため接続が可能です。

②キャビネットを2台接続して使用する場合

この場合はキャビネットのトータル・インピーダンスは、前述の公式により2Ωとなります。そのためキャビネットのトータル・インピーダンス値がヘッドのMinインピーダンス値未満となってしまうため、接続できないということになります。

コンボのエクステンション・キャビネット

コンボ・アンプにエクステンション・スピーカーを増設する場合も上記に則って結線します。インターナル・スピーカーを併用する場合はその入力インピーダンスを確認しておく必要があります。

ヘッドとのコンベネーション

ルックスは似通っていてもこのようにキャビネットはそれぞれ独自のサウンド・キャラクターを持っています。一般的にスタックといえば1960Aとの組み合わせを連想しますが、当然組み合わせはこればかりではありません。例えばJVMに1960TVをつないで低域を稼いでより迫力のあるサウンドを作ったり、中域が得意なVintageModernヘッドに1960Vキャビネットをつないで抜けのよい高域を混ぜてみたりと組み合わせは自由です。ここにも自分だけのサウンドをクリエイトするカギが隠されています（いずれの場合も上記の入力とインピーダンス・マッチングには十分に注意してください）。

インピーダンス調整

マーシャルアンプヘッドとスピーカーを接続する際に、スピーカーボックスのインピーダンスに合わせてアンプのインピーダンスを調整してください。

●1台のスピーカーボックスとの接続例

スピーカーボックス 16Ω → アンプインピーダンスセレクター 16Ω

●2台のスピーカーボックスとのパラレル接続例（アンプから2本のスピーカーに直接つなぐ場合）

スピーカーボックス 16Ω 2台 → アンプインピーダンスセレクター 8Ω
8Ω 2台 → 4Ω

1960 / 1960V



モードがMONOの場合4Ωか16Ωどちらか一方のインプットを使用します。STEREOの場合は左右のペアのスピーカーにそれぞれ150W、8Ωで振り分けられます。

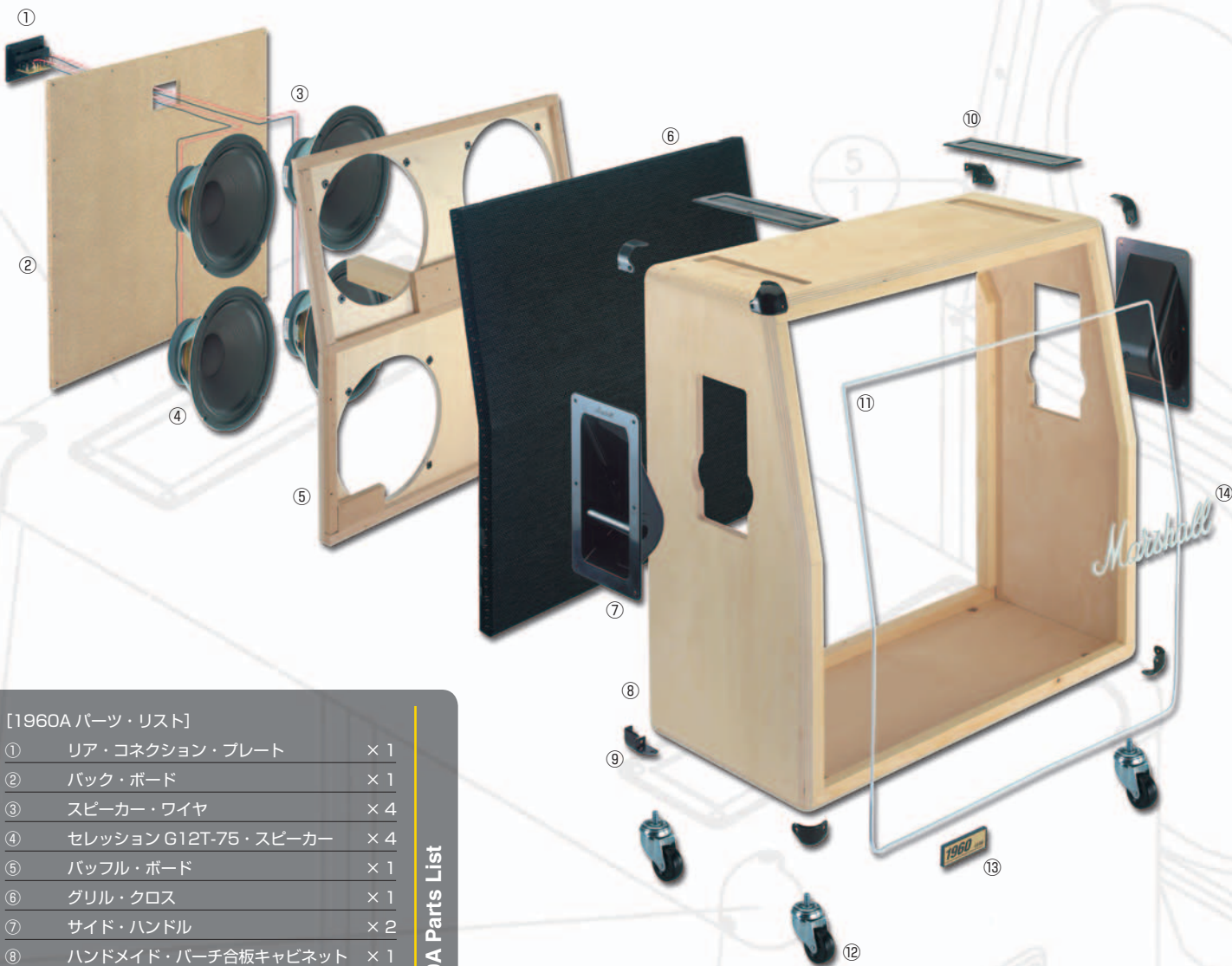
1936 / 1922



レフト・インプットに接続した場合MONOで8Ω、150W。両方のインプットに接続するとSTEREOで16Ω、2x75Wとなります。

マーシャル 4x12"キャビネットの解剖学

重量が約 80 ポンド (約 36 キロ) のマーシャル 1960A は、ルックスと人気度と売上のいずれをとっても、4x12"キャビネットとしては無敵の世界ヘビー級チャンピオンです。業界標準として世界的に認められているベストセラーのアングルド 4x12" キャビネットをここで解剖してみましょう。



[1960A パーツ・リスト]

①	リア・コネクション・プレート	× 1
②	バック・ボード	× 1
③	スピーカー・ワイヤ	× 4
④	セレクション G12T-75・スピーカー	× 4
⑤	バッフル・ボード	× 1
⑥	グリル・クロス	× 1
⑦	サイド・ハンドル	× 2
⑧	ハンドメイド・パーチ合板キャビネット	× 1
⑨	保護コーナー	× 8
⑩	スキッド・トレイ	× 2
⑪	ホワイト・バイピング	× 1
⑫	キャスター	× 4
⑬	1960 プレート	× 1
⑭	マーシャル・ロゴ	× 1

1960A Parts List

4x12"の誕生 & 伝説のマーシャル・スタック

1962年9月、ジム・マーシャルは彼の右腕でサービス・エンジニアのケン・ブランとアシスタントのダドリー・クレイヴェンとともに、最初のマーシャル・アンプ、JTM45 (注:「JTM」は、ジムと息子のテリーの名前、「ジム&テリー・マーシャル」の頭文字を取って命名されました)を製造しました。歴史を変えるこのオールバルブ・ヘッドは、30Wのクリーン・パワー (クリッピング/ディストーション前)を持ち、最大限に押し上げたときには45W以上を発揮する能力がありました。

必要は発明の母 —

「そのプロトタイプで2x12"キャビネットを試してみたが、私たちが求めているようなサウンドやプロジェクションが得られなかった」とジムは振り返ります。

「それに、アンプの出力を最大にしたときのパワーに対応できず、スピーカーを次々と吹き飛ばしてしまいました。どうすればいいかと考えたとき、思いついたんだ — 12"スピーカーが4つなら、だいたいぶなはずだ、アンプのパワーに対応して、私が求めているサウンドとプロジェクションが実現できるかもしれない、と」
*注: 使用されたスピーカーの定格は15Wで、当時はこれしか手に入りませんでした。

「最初の4x12"キャビネットは、私のガレージの作業場で作ったんだ」とジムは語ります。「設計は、とりたてて珍しいものではなかった。当時のバンドが使っていた輸送手段のことを考えて、できるだけ小さくしようと考えただけだ。だからとてもコンパクトなものになった」

斜に構える —

このようにして世界初の4x12"キャビネットが生まれましたが、ジムの設計

「キャビネット物語」パート1：伝説の4x12"

ファミリー—マーシャルは、ありとあらゆる形状とサイズのエクステンション・キャビネットを製造しています。最も有名で人気があるのが、マーシャルのアングルド (A) およびベース (B) 4x12"キャビネットです。



- 300W (RMS)
- Celestion G12T-75
- MONO/STEREO
- 16/4Ω (MONO)
- 8Ω (STEREO)
- 760×830×365
- 36.4kg/37kg
- Made in England

1960A/B



- 280W (RMS)
- Celestion G12 Vintage
- MONO/STEREO
- 16/4Ω (MONO)
- 8Ω (STEREO)
- 760×830×365
- 40.6kg/41.4kg
- Made in England

1960AV/BV



- 100W (RMS)
- Celestion G12M-25
- MONO
- 16Ω
- 760×830×365
- 37.7kg/38.2kg
- Made in England

1960AX/BX



- 100W (RMS)
- Celestion G12M-25
- MONO
- 16Ω
- 770×820×365
- 39kg
- Made in England

1960TV



- 280W (RMS)
- Celestion G12V-30
- MONO/STEREO
- 16/4Ω (MONO)
- 8Ω (STEREO)
- 770×755×365
- 43kg/44kg
- Made in England

1960DMA/B

の仕事はまだ終わっていませんでした。「最初に作ったキャビネットはストレート・フロントで、その上にJTM45を置いたとき、「これは不格好だ！ 大きな箱の上に小さな箱を置いただけに見える、と思った。実際、それだけのものだったんだ。だから私はキャビネットの前面の上半分に角度をつけることを考えた。そうすれば、4x12"の上半分がヘッドの寸法に合って、2つがうまくマッチしているように見える。デザインを工夫して、合わせたときにすっきり見えるようにしたかったんだ。完成したとき、その出来栄えにみんなが満足したよ」

角度をつけたことにより、「すっきり」見えるだけでなく、4x12"キャビネットのサウンドを良くする効果もありました。見た目の美しさを考えてジムが角度をつけたことにより、キャビネットの上半分のパツルにも傾斜をつける必要が生じた。その結果、上の2つのスピーカーは水平ではなく、少し上向きになったのです。「これは純粋に外観を良くするためのデザインだったんだ」とジムは

笑います。「当時は、角度を変えることによってサウンドにどんな影響があるかを考えてもいなかった」。実際、サウンドにどんな影響があるかに気づいたのは、アーティストが彼に疑問をぶつけたときだったとジムは認めています。

「当時ビッグだったグループのひとつが、ブライアン・プールのザ・トレメローズだった。彼らはマーシャルを使っていたから、ギグをやるときに私が何度か呼ばれたんだ」とジムは振り返ります。「最初のサウンド・チェックで、リード・ギタリストのリッキーが私に聞いた。「ジム、キャビネット・フロントの上の方に角度がついているのは、どういう意味があるの？」ってね。私は見た目が気に入ったからそうしただけだと言いたくなかったから、「それはだね、リック、フロントがまっすぐなキャビネットは、前の方の観客にまっすぐ音を飛ばすだけだ。でも、上の方に角度がついていて、上の2つのスピーカーが少し上向きになっているおかげで、客席の後ろの方にもサウンドが届くんだよ」と説明した。そして

「キャビネット物語」 パートII：その他のエクステンション・キャビネット



充実した 4x12"キャビネットのラインナップに加えて、1x10"、1x12"、2x12"エクステンション・キャビネットもご提供しています。



- 150W (RMS)
- Celestion G12B-150
- 1 x 12"
- MONO
- 8Ω
- 510×465×290
- 14.6kg
- Made in England

1912



- 150W (RMS)
- Celestion G12T-75
- 2 x 12"
- MONO/STEREO
- 8Ω (MONO)
- 16Ω (STEREO)
- 675×515×260
- 19kg
- Made in England

1922



- 150W (RMS)
- Celestion G12T-75
- 2 x 12"
- MONO/STEREO
- 8Ω (MONO)
- 16Ω (STEREO)
- 740×600×305
- 24.6kg
- Made in England

1936



- 140W (RMS)
- Celestion G12 Vintage
- 2 x 12"
- MONO/STEREO
- 8Ω (MONO)
- 16Ω (STEREO)
- 740×600×305
- 24.6kg
- Made in England

1936V



- 150W (RMS)
- Celestion Vintage & Heritage
- 2 x 12"
- MONO
- 16Ω
- 690×490×265
- 24kg
- Made in England

JVMC212



- 60W (RMS)
- Celestion G12H-30
- 2 x 12"
- MONO
- 8Ω
- 650×665×305
- 24kg
- Made in England

2061CX



- 20W (RMS)
- Celestion G12M-20
- 1 x 12"
- MONO
- 8Ω
- 610×535×230
- 14kg
- Made in England

1974CX

Other handwired Speaker Cabinets

驚いたことに、まさにそのとおりだったんだ！ バンドが演奏しているときに会場の後ろの方についてみると、満員だったにもかかわらず、リッキーのギターがすごくクリアに聞こえた — 角度をつけたのが効果的だったんだ！ 自分はなんてバカなんだろうと思ったよ。サウンドのことを考えれば、なかなか巧妙なデザインだったのに、自分でそれに気づけなかったんだからね！」

まったく年を取っていない唯一のロック・スター、マーシャル・スタック —

時代は1965年。ザ・フーは、ますます大きな会場に出演するようになり、ギタリストのビート・タウンゼントは、もっと大音量のアンプを探していた……。

「ビートは私のワークショップにやってきて、『もっとパワフルなセットアップが必要なんだ。100Wアンプと8x12"キャビネットが欲しいんだよ』と言った」とジムは回想する。「私は、『わかった、それならストレート・フロントで

4x12"を作って、その上にアングルドのものを重ねるよ』と答えた。すると彼は首を振って、『それじゃだめなんだよ、ジム。8つぜんぶ、1つのキャビネットに入れて欲しいんだ』と言った。それでは重くなり過ぎるから、ローディーたちが文句を言うよ、と私は警告した。ところが彼は、『あいつらのことは気にしなくてもいい。そのために給料を払ってるんだ』と言って、去って行ってしまった」

「いくつか試作品を作ったら、案の定、彼は2～3週間後に戻ってきて、『ジム、君の言うとおりだったよ。あまりにも重すぎて、ローディーたちが怒り狂ってる！』』と言った。彼は8x12"を半分に分けてくれれば、と言ったんだけど、それは構造的に無理だった。あの当時はまだフィンガーロック・ジョイントを使わずに、バット・ジョイントを使っていたからだ。だから私は言った。『ビート、そんなことをしたら、ぜんぶバラバラになってしまうよ。私に任せてくれ、いい方法を考えるから』ってね。そして私は、最初に考えたとおりのものを作

「キャビネット物語」 パートⅢ：スピーカーについて

英国製のマーシャル4x12"キャビネットは、その一貫して強健な構造に加え、使用するスピーカーのタイプと、キャビネットのフロントがアングルド（A）か、ベース（B）かということが、サウンドを左右する最大の要素です。英国製のキャビネットの中でも人気の7モデル、1960Aと1960B、1960AVと1960BV、1960AXと1960BX、1960TVのそれぞれのサウンドの特徴を以下にまとめました。

別のアングル（角度）から聴く：アングルドとストレートのマーシャル4x12"キャビネットのサウンドの差異

世界的ベストセラーの4x12"キャビネット、1960Aは、アングルド・フロントが特徴で、これはデザインだけでなく、サウンドにも影響を及ぼします。今や有名になった「アングルド・キャビネットの誕生物語」が明らかにしているとおり、ジムが目指す外観を実現するためには、キャビネットのバックフル（キャビネット前面のグリル・クロスの後ろにあり、スピーカーをマウントする垂直の板）の上半分に角度をつけることが必要でした。そのため、上の2つのスピーカーが少し上向きになり、その結果、Aキャビネットは前方だけでなく上方にサウンドを拡散します。Aキャビネットをハーフ・スタックのセットアップ（ヘッド1つとキャビネット1つ）で使用する場合、その上半分は一種のモニターとして機能します。上の2つのスピーカーがサウンドを上向きに送り、ユーザーの耳に届けるからです。これはステージに広さと奥行きがないためにモニターが置けない場合に役立ちます。サウンドが広く拡散されるだけでなく、上向きに音が投げられるために、高音がよく聞こえます。

1960Bストレート・キャビネット（Bは「ベース」または「ボトム」の頭文字）の場合、4つのスピーカーがすべて同じ方向を向いているために、サウンドがフォーカスされます。また、拡散が少ないために、パンチの効いた、タイトな低音が実現されます。さらにBキャビネットの低音のパンチ力を高めているのは、Aキャビネットよりエンクロージャーが少し大きいために、低めの周波数がよく響くことです。これらの理由から、プロのプレイヤーの多くは、特に大音量で演奏する際にはBキャビネットを好みます。

7タイプの人気マーシャル1960 4x12"キャビネットのサウンドの紹介

1960A&1960B：セレクション12" G12T-75 75Wスピーカー搭載

1960Aが生み出す、大音量で、よくフォーカスされ、不要なものがないサウンドは、タイトでフルな低音とクリスピーで明るい高音が特徴です。ギターの音域全体にわたって発音がよく、クリアなサウンドは、リバーブやコーラス、ディレイなどのエフェクトをよく使うプレイヤーに最適で、このようなエフェクトを覆い隠したり濁らせたりしません。万能で比較的「色がついていない」サウンドの1960Aは、マーシャル史上最もよく売れているアングルド4x12"です。

1960Bのサウンドは、スピーカーはまったく同じですが、高音が少し減り、低音のパンチ力が少し強く感じられます。

1960AV&1960BV：セレクション12"「ビンテージ」70Wスピーカー搭載

1960AVと1960BVは、1960Aと1960Bに比べて厚みがあり、ウォームなサウンドで、輪郭がくっきりした中音域と、少し丸みがあり、きら

めきがありながら明るすぎない高音域が特徴です。また、低音域もしっかりしていて、ぼやけることはありません。ビンテージの低音は、「音楽的」だとも言われています。1960BVは、アグレッシブなヘヴィメタルのプレイヤーに人気があります。

1960AX&1960BX：

セレクション12" G12M-25

「グリーンバック」25Wスピーカー搭載

これらのスピーカーのトーンは、1960A/Bの明るさと1960AV/BVの温かさの間に位置づけられます。グリーンバックは、非常に特徴的なサウンドを持ち、レスポンスが速く、スナップが効いていて、クリーンとディストーションの両方の演奏にディテールとダイナミックを加えます。1960AX&BXをアンプでオーバードライブすると、低めのヘッドルームにより、サウンドがゆるやかに歪みます。このサチュレーションの性質によってクラシックなビンテージ・トーンと、ナチュラルで音楽的なコンプレッションが得られ、ジャンルを超えて効果的なヴァイブが生まれます。

1960TV：

セレクション12" G12M-25

「グリーンバック」25Wスピーカー搭載

1960AX&BXと同じスピーカーを使用しながらも、スタンダードなキャビネットより65mm背が高い1960TVは、大きな外観も、強化された低音域も迫力があります。ビンテージのフレットは、デザインが特徴的なだけでなく、密度とタイトさがサウンド全体の形成にも効果を発し、アッパー・ミドルのトーンを抑えて、クラシックなトーンを再現します。

ご注意：100Wのオールバルブ・マーシャル・アンプは出力を最大にすると100Wを大幅に超えるため、100Wヘッドを1960AX、1960BX、1960TVのいずれか1基と合わせてハーフ・スタックとして使用することはお勧めしません。



った — ストレート・フロントのキャビネットの上に、アングルド・フロントのものを重ねたんだ

このようにしてマーシャル・スタックが生まれ、ロックンロールの同義語になりました。「実際、このスタックは、ビートと私のアイデアの融合から生まれたんだ」とジムは言います。「最初に作ったスタックもすばらしかったよ。壁のようにそびえるキャビネットは、どんなステージでもすばらしい背景になるからね」

「マーシャルでは何十年も前から、週に数百のキャビネットを製造している」とジムは語ります。「ずいぶんたくさん4x12"を作ってきたことになる — それがいまどこへ行くのか、だれにもわからない。そのうち、これまでにいくつ製造したのか、計算してみようと思う。ぜんぶ並べたら地球上のどれくらいの距離までのびるかを知りたいんだ」





MG15CFXMS "Microstack"

MG15CFX

MG30CFX

MG2CFX — バッテリーまたはコンセントを電源で使用でき、プログラミング可能な機能 [10 のカスタム・ボイシング・チャンネル、2 バンド EQ、3 つの調節可能なモジュレーション系デジタル・エフェクトのオプション (コーラス、フェイザー、フランジャー)、デジタル・リバーブ、デジタル・ディレイ、内蔵チューナー] が搭載されています。肩ストラップ、MP3 / ライン・インとエミュレーテッド・ヘッドホン出力を備えたモデルで、どこでも練習ができます。

MG10CF — 自宅やバックステージでの使用に最適な質実剛健なモデル。クリーン&オーバードライブの 2 チャンネルで、OD チャンネルにはコンツァー・コントロールが搭載され、厚みのある丸いトーンから、迫力のドンシャリ・サウンドまで、トーンを微調整できます。トラックに合わせてジャミングできる MP3 / ライン入力と、最高のサウンドを楽しみながら無音で練習できるエミュレーテッド・ヘッドホン出力を備えています。

MG15CF — クリーン&オーバードライブの 2 チャンネルと共有の 3 バンド EQ ネットワークで究極のトーン・コントロールを実現。パンチが効いたマーシャル・サウンドで、サイズが大きいライバルをノックアウトします。MP3 / ライン・インとエミュレーテッド・ヘッドホン出力も搭載しています。

MG15CFR — MG15CF と同じ機能を搭載し、みずみずしいサウンドのスプリング・リバーブが加わったモデルです。

More Effects

アナログ・トーン+デジタル・プログラミング/メモリ/エフェクト —

MG15CFX は 15W の 1×8" コンボ、MG15CFXMS は 15W のマイクロスタック (15W ヘッドにアングルドとストレートの 2 つの 1×10" キャビネット)、MG30CFX は 30W の 1×10" コンボです。4 チャンネル (クリーン、クランチ、OD1、OD2) のこれらのアンプは、最新のデジタル技術と、長らく実践されてきたアナログ・トーン回路を、理想的な形で融合しています。その結果実現したのは、デジタル・エフェクトやメモリによって増強された、100% 純粋なマーシャル・トーンです。選択できるエフェクトは、リバーブ (スタジオまたはスプリング) と、簡単に調節できる以下のエフェクトの 1 つです——コーラス、フェイザー、フランジャー、ディレイ (タップ・テンポ付)、オクターブ (固定)。3 つのアンプはいずれも 3 バンド EQ、MP3 / ライン・イン、エミュレーテッド・ヘッドホン出力、内蔵の FDD を搭載しています。

瞬時の呼び出し —

これらのアンプの非常に高度なところは、4 つのチャンネルにメモリが搭載されていることです。いずれのアンプも、プリセットまたはマニュアルの 2 つのモードのいずれかを選択できます。マニュアル・モードでは、通常のアンプのように、フロントパネルで見たままの設定で動作します。一方、プリセット・モードでは、チャンネルを選択し、お好みのトーンとエフェクトを設定し、保存ボタンを押せば、そのチャンネルを選択するたびに設定が瞬時に呼び出されます。再度の設定、保存をするまで、設定は保存されます。保存されない唯一の設定は、マスター・ボリュームです。

究極のフット・コントロール —

オプションの 4 ウェイ MG フットコントローラーを使用すれば、ストンプウェア・テクノロジーにより、可能性がさらに広がります。

MG Carbon Fibre Series

モデリング・アンプではありません。デジタルの模造品でもありません。100%まじりけなしの完全なマーシャルです。カーボン・ファイバーをまとった大胆なルックス、新しいデジタル・エフェクト、好評を博したMGのアナログ・トーンの中核部が自慢のMGCFシリーズは、世界有数のプレイヤーたちによって練習用アンプに選ばれています。また、シリーズ中の7製品は、プログラミングが可能です。そう、アナログ・トーンとデジタル・エフェクトを兼ね備えた、プログラミング可能なアンプなのです。

MG2CFX 2W 1x6.5 DIGITAL FX COMBO

FUNCTIONS

Top Panel : MODE (CLEAN/CRUNCH/OD1/OD2) : BASS, GAIN : TREBLE, FX (CHORUS/PHASER/FRANGER) : REVERB, VOLUME : DELAY, PRESET/TUNER DIGITAL DISPLAY, TAP : SHIFT SW (HOLD TUNER)

Rear Panel : HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

MG10CF 10W 2ch 1x6.5 COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN VOLUME, CHANNEL SW, OD GAIN, OD VOLUME, CONTOUR, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

MG15CF 15W 2ch 1x8 COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN VOLUME, CHANNEL SW, OD GAIN, OD VOLUME, BASS, CONTOUR, TREBLE, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

MG15CFR 15W 2ch 1x8 REVERB COMBO

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN VOLUME, CHANNEL SW, OD GAIN, OD VOLUME, BASS, CONTOUR, TREBLE, REVERB, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), MP3/CD LINE IN

MG15CFX 15W 4ch 1x8 DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

MG30CFX 30W 4ch 1x10 DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO

MG15CFXMS 15W 4ch 1x8 DIGITAL FX PROGRAMMABLE MICRO STACK

FUNCTIONS

Front Panel : CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB, VOLUME, FX SELECT (OFF/CHORUS/PHASER/FLANGER/DELAY), MASTER, TAP (MANUAL) SW, STORE SW, MP3/CD LINE IN, HEADPHONE SOCKET (SPEAKER EMULATED), FOOTCONTROLLER JACK

Footcontroller: PEDL90008 (別売)

Loudspeaker Output (MG15CFXMSのみ) : 2 OUTPUT (8ΩMin)



スピーカー・ダンピング —

バルブ・アンプのフィールがすばらしいのは、パワーアンプとスピーカーの相互に作用し、演奏の周波数によって反応が変わることが大きな要因のひとつです。ほとんどのソリッドステートのパワーアンプにはこのような作用がないために、プレイヤーにはスムーズに感じられません。MGのパワーアンプはすべてマーシャルの周波数依存ダンピング(FDD)機能により、この作用を模倣しています。

仕様	MG2CFX	MG10CF	MG15CF	MG15CFR	MG15CFX	MG15CFXMS	MG30CFX
実効出力	2Wrms	10Wrms	15Wrms	15Wrms	15Wrms	15Wrms	30Wrms
スピーカー	6.5" x 1	6.5" x 1	8" x 1	8" x 1	8" x 1	(10" x 1) x 2	10" x 1
サイズ (mm)	260W × 263H × 175D	295W × 315H × 180D	385W × 380H × 210D	385W × 380H × 210D	385W × 380H × 210D	385W × 960H × 240D	480W × 420 × 225D
重量 (Kg)	3.1	4.8	7.4	7.4	7.7	18.7	10.8

MG Carbon Fibre Series

カーボン・ファイバーをまとった充実のMGシリーズには、50Wコンボと、100Wの3モデル(コンボx2、ヘッドx1)も用意されています。いずれもステージ用に設計され、バブヤクラブからホールまであらゆるライブの状況に対応し、スタジアムやアリーナで活躍した実績もあります。これこそが10年以上にもわたって愛されてきたMGシリーズの特長で、プラチナ盤のCDのレコーディングにも活用されました。自宅からバックステージ、さらにはトップクラスのレコーディング・スタジオまで、MGはすべてのニーズをカバーする万能選手です。



Front Panel

フロントパネルのコントロールおよびスイッチは、MG50CFX、MG101CFX、MG102CFXコンボも同じです。

MG102CFX

MG50CFX

- MG50CFX 30W 4ch 1x12 DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO
- MG101CFX 100W 4ch 1x12 DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO
- MG102CFX 100W 4ch 2x12 DIGITAL FX PROGRAMMABLE COMBO
- MG100HCFX 100W 4ch 1x12 DIGITAL FX PROGRAMMABLE AMP HEAD

FUNCTIONS

Front Panel: CLEAN : CRUNCH SW, OVERDRIVE SW, GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, REVERB ON/OFF SW, REVERB, VOLUME, FX SW (ON/OFF), MODULATION (CHORUS/ PHASER/FLANGER), TAP SW, DELAY, EXT FX SW, MASTER, DAMPING (MANUAL) SW, STORE SW, HEADPHONE/LINE OUT SOCKET (SPEAKER EMULATED)

Rear Panel: FOOTCONTROLLER JACK, LOUDSPEAKER OUT JACK, MP3/CD LINE IN, FX SEND JACK, FX RETURN JACK

Footswitch: PEDL90010 (付属)

Footcontroller: PEDL90008 (別売)

ビッグ・フォー

パワフルなMGCFは、MG50CFX(50W 1x12"コンボ)、MG101CFX(100W 1x12"コンボ)、MG102CFX (100W 2x12"コンボ)、MG100HCFX (100W ヘッド)の4つのモデルが揃っています。MG100HCFXヘッドは、ワット数が適合するマーシャルのキャビネットで使用できますが、ハーフまたはフル・スタックとして、セッション・スピーカーを搭載した120W 8ΩのMG412ACF (アングルド・フロント)とMG412BCF (ストレート・フロント) 4x12"キャビネットと組み合わせるのが理想的です。

MGCFシリーズの4つのモデルは、完全にプログラミングできる4つのチャンネル(クリーン、クランチ、OD-1、OD-2)があり、チャンネルを瞬時に、シームレスに切り替えられます。ステージで活躍するパワーを持っているだけでなく、充実したデジタル・エフェクトをアップグレードし、独立したディレイ・セクシ

ョンを加えたことにより、同時に3つのプログラミング可能なエフェクトが使用できるようになりました。タップ・テンポのほか、ハイファイ、テープ、マルチ、リバーブの4つのディレイ・タイプが選択できます。また、ディレイが別になったことにより、新しいエフェクトのヴァイブがエフェクト・メニューに加わりました。さらに、ダンピング・スイッチ(クラシックまたはモダン)も追加されています。

同時に3つ使用できるプログラミング可能なデジタル・エフェクトは、リバーブ(スタジオまたはスプリング)、ディレイ、そして、コーラス、フェイザー、フランジャー、ヴァイブ、オクターブのうちの1つです。さらに、固定式のオクターブ(元の音に1オクターブ下の音加わります)を除き、リバーブ、ディレイ、コーラス、フェイザー、フランジ、ヴァイブはすべて調節可能です。これは最新のデジタル・テクノロジーと、高評を博し、長年にわたって実力が証明されてきたアナログ・トーン回路の完璧な融合であり、100%まじりっけなしのマーシ



MG100HCFX
MG412ACF

MG101CFX



MG Footcontroller
PEDL90008

JVMシリーズのために開発されたStompwareテクノロジーを導入したMGフットコントローラーのおかげで、MGCFXアンプ (MG2FXを除く) の操作は、簡単そのものです。MGフットコントローラーは完全にプログラミングが可能で、4つのスイッチはどれもフロントパネル・スイッチ (スイッチ保存) を割り当てるか、完全なプリセット (プリセット保存) を呼び出すようプログラミングできます。また、MGフットコントローラーは、チューナーとして使用することもできます。選択されたチャンネルやスイッチが見やすいLEDパネルに表示されるため、後ろにあるアンプを振り返って見る必要がありません。さらに、通常ギター・ケーブルでアンプに接続できるため、ギタリストにとって非常に使いやすいフットコントローラーです。

ャル・トーンがデジタル・エフェクトとメモリによって増強されました。

4つのモデルはすべてエフェクトループ、MP3 / ライン出力ジャック、ライン出力ジャックと兼用のエミュレーテッド・ヘッドホン出力を備えています。4つのモデルはすべて2ウェイのチャンネル切り替えフットペダルが付属し、オプションのMGフットコントローラーに対応しています。

最新のMGシリーズについては、ザック・ワイルドも絶賛しています—
「マーシャルが史上最高のアンプたるゆえんである、クラシックで、ウォームで、ユニークなトーンを持っているだけでなく、内蔵のエフェクトとリバーブのサウンドもすばらしい。マーシャルの無敵の武器庫にまた新たな兵器が加わった」

仕様	MG50CFX	MG101CFX	MG102CFX	MG100HCFX
実効出力	50Wrms	100Wrms	100Wrms	100Wrms
スピーカー	Custom 10" x 1	Custom 12" x 1	Custom 12" x 2	—
サイズ (mm)	520W × 505H × 280D	595W × 540H × 280D	675W × 505H × 280D	595W × 255H × 280D
重量 (Kg)	16.6	20	22.4	11.4

仕様	MG412ACF	MG412BCF
スピーカー	Celestion G12-412MG x 4	Celestion G12-412MG x 4
許容入力	120W	120W
インピーダンス	8Ω	8Ω
サイズ (mm)	695W × 675H × 390D	695W × 675H × 390D
重量 (Kg)	24	24

Acoustic Soloist

アコースティック・ソロイストはマーシャルのイメージからすれば一見奇妙にも思えるラインナップかもしれませんが、しかし、AS50Dが最も売れているアコースティック・アンプの一つであるのはまぎれもない事実。世界のアコースティック・パフォーマーからも絶大な信頼を得たロング・セラーのコンボ・アンプ・シリーズです。

仕様	AS100D	AS50R
実効出力	50+50Wrms	25+25Wrms
スピーカー	Celestion	
	Custom Speaker 8" x 2	Custom Speaker 8" x 2
サイズ (mm)	600W x 540H x 261D	542W x 416H x 261D
重量 (Kg)	21	14.1



AS100D



AS50D

AS100D FRONT PANEL FUNCTIONS

ACOUSTIC CHANNEL 1: (標準 INPUT) VOLUME, BASS, MID, MID FREQUENCY (250~2.5kHz), TREBLE, PHASE/GAIN (ON/OFF)
ACOUSTIC CHANNEL 2: (標準 INSTRUMENT INPUT) MICROPHONE INPUT (BALANCED XLR) VOLUME, BASS, TREBLE, LINK CH1/CONTOUR/PHASE/ PHANTOM (ON/OFF)
MICROPHONE CHANNEL: (BALANCED XLR INPUT) VOLUME, BASS, TREBLE, INT. FX VOLUME, EXT. FX VOLUME, PHASE/PHANTOM (ON/OFF)
STEREO DIGITAL EFFECTS: PROGRAM 1~16, ADJUST (0~10), LEVEL (0~10) 1~3 HALLS, 4~6 ROOMS, 7~9 PLATES, 10 NON LINEAR, 11 CHORUS, 12 FLANGE, 13 DELAY, 14 CHORUS ROOM, 15 CH/DLY/ROOM, 16 MODULATION
AUX INPUT: (RCA L/R) VOLUME
ANTI-FEEDBACK: ON/DEPTH (ON/OFF), SWEEP 1 (50~250Hz), SWEEP 2 (60~650Hz), INT. FX/EXT.FX (ON/OFF) **MASTER SECTION:** VOLUME

REAR PANEL FUNCTIONS

FOOTSWITCH JACK (EFFECTS 1~16, ON/OFF), EFFECTS LOOP: EFFECT SEND, LEVEL CONTROL, EFFECT RETURN (L(MONO) /R), D.I. OUT (L/R BALANCED XLR), LINE OUT (標準 L/R)
Footswitch: PEDL10001 (付属)

AS50D FRONT PANEL FUNCTIONS

CHANNEL 1 (Acoustic Instrument): (標準 INPUT) VOLUME, BASS, TREBLE
CHANNEL 2 (MICROPHONE / AUX): (AUX INPUT, BALANCED XLR INPUT, 標準 INPUT) VOLUME, BASS, TREBLE
MASTER SECTION: CHORUS SPEED, CHORUS DEPTH, CHANNEL ASSIGN SW (CH1/CH2), REVERB /LOOP CONTROL (CH1-CH2), REVERB LEVEL, ANTI-FEEDBACK CONTROL (80Hz-1kHz) & NOTCH FILTER SW (PHASE / NOTCH), MASTER VOLUME

REAR PANEL FUNCTIONS

FOOTSWITCH JACK (CHORUS: ON/OFF, REVERB: ON/OFF), EFFECT SEND, EFFECT RETURN (±0dB), LINE OUT, D.I. OUT
Footswitch: PEDL10015 (別売)

AS100D 50+50W STEREO DIGITAL EFFECTS COMBO

AS100Dはデジタル・エフェクトを内蔵した、エレクトリック・アコースティックギター専用のアンプです。余裕の大出力でエレクトリック・アコースティックギターの生音を持つナチュラルなフィリングと極めて微妙なニュアンスを再現します。アコースティック・チャンネル1は、ギター専用のチャンネルでミドル・パラメトリックEQを搭載。アコースティック・チャンネル2は、通常のギター・インプットに加えバランスド XLR コネクターを装備しており、ボーカルのアンプとして使用することも可能です。アコースティック・チャンネルにはフェイズ・スイッチやハウリング防止に効果を発揮するアンチフィードバック・コントロールなど、多彩な機能を装備しています。マイクロフォン・チャンネルは、内部および外部エフェクト・レベル調整機能を持つボーカル専用チャンネルです。AS100Dは通常のインプット・チャンネルに加え、MP3 プレイヤー等のソースを入力できる AUX ステレオ・インプット端子も備えていますので、外部音源を

バックにして一人でギターを弾きながらボーカルをとるといったパフォーマンスも可能です。

AS50D 25+25W CHORUS/REVERB STEREO COMBO

コンパクトなボディが魅力の AS50D。ピエゾ/マグネティック・ピックアップなど、トランスデューサー付の楽器のためのチャンネル1、ボーカルまたは楽器用のマイクロフォンのためのチャンネル2には、MP3 プレイヤー等が接続できる AUX 入力も用意されています。リバーブ、コーラスやパラレル・エフェクト・ループはもちろん、ハウリングを防止するフェイズ・スイッチやノッチ・フィルターも装備。内部リミッターにより、ディストーションを防止しながら50ワットの出力を最大限まで押し上げることも可能です。ピエゾ・ツイーター [高音用スピーカー] も搭載し、極めて繊細なサウンドが得られます。

MB Bass Series

MBシリーズは、マーシャルが自信を持ってお送りする2チャンネルの野性味あふれるベース・アンプです。想像をはるかに超える素晴らしいトーンとプロ仕様の機能を搭載、開発にあたりマーシャルのR&Dチームは「マーシャルならではの」ベース・トーンを編み出すことに心血をそそぎました。クラシック・チャンネルはこれぞマーシャルと言う、いにしへのヘビーなトーンを、そしてモダン・チャンネルは超クリスタル・トーンを生み出します。ビギナーからプロフェッショナルまで、様々なレベルやスタイルのプレイヤーにご満足いただけるベース・アンプシリーズです。



MB15



Front Panel Features



ズシリと来るModernチャンネルのクリーン、咆哮するClassicチャンネルの歪み。MBシリーズは2チャンネルで構成されています。



内蔵のコンプレッサーは低域をスムーズに演出する一方、パワーアンプのクリップを防ぐ働きをします。

MB15 FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, EMULATED LINE OUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW

modern CH: VOLUME, COMPRESSOR (ON/OFF SW)

classic CH: GAIN, VOLUME

modern/classic ch (共通): BASS, VOICE, TREBLE

MB30 FUNCTIONS

Front Panel: INPUT JACK, CD INPUT JACK, HEADPHONE JACK, CH SELECT SW

modern CH: VOLUME, COMPRESSOR (ON/OFF SW)

classic CH: GAIN, VOLUME

modern/classic ch (共通): BASS, VOICE SHIFT (1/2/3), VOICE, TREBLE

Rear Panel: EMULATED LINE OUT JACK, FX LOOP JACK

Footswitch: PEDL10001 (別売)

MB30



MB30 Front Panel



MB15 15W 2ch 1x8 BASS COMBO

シリーズ最小のモデルですが、1×8"スピーカーから飛び出す力強いサウンドは驚異的ですからあります。2チャンネル、コンプレッサー、エミュレイテッド・ラインアウト&ヘッドホンと搭載機能も充実。最高のエントリー・モデルであるばかりでなく、上級者のセカンド・アンプとしても抜群のコストパフォーマンスを誇っています。

MB30 30W 2ch 1x10 BASS COMBO

MB15同様の2チャンネル仕様で10"スピーカーを1台搭載しています。練習用アンプとしても最適ですが、小規模なギグでも抜群の威力を発揮します。MB30には「Voice Shift」やエフェクト・ループが搭載されており、よりバラエティに富んだサウンド作りが可能です。別売りのフットスイッチでチャンネルを切り替えることができます。

仕様	MB15	MB30
実効出力	15Wrms	30Wrms
スピーカー	8" x 1	10" x 1
サイズ (mm)	390W x 380H x 240D	440W x 410H x 260D
重量 (Kg)	12	14.8

EX Pedals

マーシャルの技術陣が、最高のサウンドを追究したコンパクト・エフェクター・シリーズに、空間系デジタル・エフェクター3機種が新登場。ソリッド・メタル製の堅牢なボディ、それぞれに6種類のエフェクトを内蔵し、空間の拡がりを倍増させるステレオ仕様です。また既に定評を得ている歪み系として、ズ太いオーバー・ドライブ「ガバナー・プラス」、激歪みの「ジャックハンマー」、艶やかな歪みの「ブルースブレイカー」がラインナップ。また、ユニークな音世界を生み出す「ビブラトレム」や、クリアなロング・サスティーンを演出する「コンプレッサー」など、全8機種が勢揃いしました。あなたのマーシャル・ワールドをさらに充実させてください。



GV-2 FUNCTIONS

GAIN CONTROL, DEEP & BASS CONTROLS, MID & TREBLE TONE CONTROLS, VOLUME CONTROL

BB-2 FUNCTIONS

MODE SWITCH (BOOST / BLUES), DRIVE CONTROL, TONE CONTROL, VOLUME CONTROL

JH-1 FUNCTIONS

MODE SWITCH (CRUNCH / LEAD), GAIN & VOLUME CONTROLS, BASS & TREBLE CONTROLS, CONTOUR & FREQUENCY CONTROLS

RF-1 FUNCTIONS

MODE SWITCH (HALL, PLATE, ROOM, SPRING 1, SPRING 2, REVERSE), REVERB TIME CONTROLS, DAMPING CONTROLS, LEVEL CONTROL

GV-2 GUV'NOR PLUS - DISTORTION PEDAL

高い評価を得たオリジナル・ガバナーのリッチなトーンはそのままに、さらに強力になったゲイン・コントロールと、ズ太いサウンドを生み出すディープ・コントロールを装備。3ウェイ・イコライザーに加え、“ディープ”を搭載。これ上げることで従来のトーン・コントロールでは真似できないような、濁りのないタイトなボトムが加わり、豊かで拡がりのあるローエンドを実現します。

BB-2 BLUESBREAKER II - OVERDRIVE PEDAL

クリーン・ブーストとウォーム・ドライブの、2つのモードを装備。同名のオールド・バルブ・アンプの特徴である、コンプレッションとハーモニクスをリアルにシミュレートしたリッチなサスティーンが絶妙。ブースト・モードでは、ドライブとトーン回路をバイパス、ナチュラルなオーバードライブが得られます。ブルース・モードでは、クリーン・セッティングのアンプでも最高に滑らかでプ

ルージーなオーバードライブが得られますが、すでにディストーションがかかっているアンプで使うと、さらにマーシャルらしさを高めることが可能です。

JH-1 JACKHAMMER - DISTORTION PEDAL

JCM800のクランチから、ウルトラ・ディストーションまでもカバーする最強の歪みを実現。ミッド・レンジに劇的な変化を与えるコンツアー・コントロールにより、多彩な音作りが可能。キレとダイナミクスのある歪みの“オーバードライブ”、ハイ・ゲイン・コンプレッション・トーンが得られる“ディストーション”の、2つのモードを搭載。コンツアー・コントロールでは、カットする周波数が選べるため“ドンシャリ”サウンドをはじめ、あらゆる音作りが可能です。

RF-1 REFLECTOR - STEREO DIGITAL REVERB PEDAL

6種類のリバーブ[ホール、プレート、ルーム、スプリング1、スプリング2、リ



ベース]が生み出す多彩な3次元空間、ステレオ・アウトプットによるワイドな広がりは驚異的です。REVERB TIME、DAMPING、LEVELによりコントロールします。

EH-1 ECHOHEAD - STEREO DIGITAL DELAY PEDAL

最大ディレイ・タイム2000ms、6種類のディレイ[ハイファイ、アナログ、テープ・エコー、マルチ・タップ、リバーブ、モド・フィルター]をフューチャーしたステレオ・ディレイ。DELAY TIME、FEEDBACK、LEVELによりコントロールします。

RG-1 REGENERATOR - STEREO DIGITAL MODULATION PEDAL

コーラス、フランジャー、フェイザーの、代表的揺らぎ系サウンドから6種類の異なるサウンド[ピンテージ・コーラス、マルチ・コーラス、ピンテージ・フランジャー、フェイザー、ステップ・フェイザー、ピンテージ・パイプ]をクリエート。SPEED、DEPTH、REGENという3つのパラメーターでサウンドをコントロール。

VT-1 VIBRATREM - STEREO TREMOLO & VIBRATO PEDAL

グルービーなトレモロと、サイケデリックなビブラト。揺らぎの幅をコントロールするシェイプ・コントロールを搭載。ステレオ仕様のトレモロ・モードは、ピンテージ・アンプのようにシグナルがナチュラルに増減。ビブラト・モードは、エフェクト・シグナルのフェイズをシフトすることで、ある種のピンテージ・アンプで得られるようなビブラトをシミュレートします。

ED-1 COMPRESSOR - COMPRESSOR PEDAL

スムーズなレガートを実現する粒ぞろいのサウンド。極めてクリアなロング・サステーンと艶やかなサウンドは、ソロはもちろん、ファンキーなカッティングにも最適。エンファシス・コントロールにより、タイトからブライトまでバリエーションに富んだ音作りが可能。バンドのアンサンブルに埋もれない音質、馴染む音質、突出する音質など、自由自在に演出できます。

EH-1 FUNCTIONS

MODE SWITCH (HIFI, ANALOGUE, TAPE ECHO, MULTI TAP, REVERSE, MOD FILTER), DELAY TIME CONTROLS, FEEDBACK CONTROLS, LEVEL CONTROL

RG-1 FUNCTIONS

MODE SWITCH (V CHORUS, M CHORUS, FLANGER, PHASER, STEP PHASER, V VIBE), SPEED CONTROLS, DEPTH CONTROLS, REGEN, CONTROL

VT-1 FUNCTIONS

MODE SWITCH (VIB / TREM), SPEED CONTROL, DEPTH CONTROL, SHAPE CONTROL

ED-1 FUNCTIONS

EMPHASIS CONTROL, VOLUME CONTROL, ATTACK CONTROL, COMPRESSION CONTROL

Micro Amps

ターバンを巻き、ローラースケートを履いてギターを弾くことで有名なカリフォルニア州ヴェニス・ビーチの大道芸人や、大ヒット映画『スクール・オブ・ロック』に出演したハリウッド・スターがベルトに装着したことで知られ、レコーディングに使用され、ロックのヒット曲に登場するなど、マーシャルMS-2はあらゆるところに出没しています。



MS-2/2C/2R FUNCTIONS

Input: INPUT

Functions: VOLUME, TONE, OFF/ON/OD SELECT SW, INDICATOR, HEADPHONE/LINE OUT, DC IN (+9V)

Size: 11W x 14H x 6Dcm

MS-4 FUNCTIONS

Input: INPUT

Functions: GAIN, VOLUME, TONE, OFF/ON/OD SELECT SW, INDICATOR, HEADPHONE/LINE OUT, DC IN (+9V)

Size: 11W x 25H x 6Dcm

小ぶりなサイズから驚くほどビッグなサウンドを生み出し、ヘッドホン出力を備え、ルックスも魅力的なMS-2は、いつでもあなたの身近に置いておけるパワフルなミニ・マーシャルです。ベルト・クリップがついているため、肌身離さず持っていることもできます。自宅やツアー・バスからバックステージまで、練習にぴったりのパートナーです。

バッテリー式の愛らしいマイクロ・ハーフ・スタックは、トラディショナル・ブラック (MS-2)、チェッカーボード・グリル・クロスをあしらったピンテージ・グ

レー (MS-2C)、ぱっと目を引くレッド (MS-2R)の3つのフレーバーから選べます。

サイズを重視するなら、フル・スタック版 (MS-4) をお選びください。ギターリストやギター愛好家にぴったりの贈り物になる必携のモデルです。

※AC Adaptor: MS2/MS4はすべて、ACアダプターと9Vバッテリーの両方で使用できます。DC INはすべてセンター・マイナスです。



マーシャル・ロゴをあしらった純正マーシャル・グッズの数々が、あなたのマーシャル・ライフをさらにロックにディープに彩ります。

1



2



3



4



5



6



7



8



10



11



12



9



13



① ACCS00039	BEANIE CAP	ロゴは刺繍仕様
② ACCS00013	BASEBALL CAP	ロゴは刺繍仕様
③ SHRT00069/00070	T-SHIRT (M / L)	ロゴは刺繍仕様
④ SHRT00094	LADIES VEST (M)	ロゴは刺繍仕様
⑤ SHRT00128/00129	DISTRESSED T-SHIRT (M / L)	
⑥ SHRT00001/00002	HOODY(M / L)	ロゴは刺繍仕様
⑦ SHRT00098/00099	WORK SHIRT (M / L)	ロゴは刺繍仕様
⑧ SHRT00183/00184	FULL HOODY(M / L)	ロゴは刺繍仕様

⑨ SHRT00189/00190	RUGBY SHIRT(M / L)	ロゴは刺繍仕様
⑩ ACCS00078	STOOL 60cm	
⑪ ACCS00079	STOOL 76cm	
⑫ MT1	TUNER MT-1	
⑬ ACCS00037	SWEAT BANDS	ロゴは刺繍仕様
⑭ ACCS00035	WATCH	
⑮ ACCS00030	MINI MAGLITE TORCH	
⑯ ACCS00043	MOUSE PAD	(マウスは付属していません)



14



15



16



17



18



19



21

FX モデル
1 ボタンリモコンとマイクとボリュームボタン

22

通常モデル



20

通常モデル
1 ボタンリモコンとマイク

23

FX モデル



24

25

写真は通常モデル



写真は FX モデル

26

27

⑰ ACCS00032

ZIPPO BRASS LIGHTER

⑱ ACCS00031

VICTORINOX 'CLIMBER' KNIFE

⑲ ACCS00045

GIG BAG

⑳ ACCS-00103

HEADPHONES MAJOR BLACK

㉑ ACCS-00122

HEADPHONES MAJOR BLACK FX

㉒ ACCS-00120

HEADPHONES MAJOR WHITE

㉓ ACCS-00124

HEADPHONES MAJOR WHITE FX

㉔ ACCS-00096

HEADPHONES MINOR BLACK

㉕ ACCS-00123

HEADPHONES MINOR BLACK FX

㉖ ACCS-00121

HEADPHONES MINOR WHITE

㉗ ACCS-00125

HEADPHONES MINOR WHITE FX



JVM
DSL



HANDWIRED

VINTAGE RE-ISSUES



Signature Series

JCM 800



EL34 100/100



EXTENSION CABINETS

MG



AS

MB^B

HEADPHONES



FX PEDALS

MICRO AMPS



GOODS



※ 各モデルの適合フットスイッチにつきましては下記の公式マーシャル・ウェブサイトをご参照願います。
※ 掲載の寸法並びに重量につきましては実物と若干の相違がある場合がございます。ケース等を製作される際には事前にご使用のマーシャル製品を実測頂きますようお願い申し上げます。
※ 商品の仕様や価格は予告なく変更することがございます。

Marshall Dealer Stamp

2013年5月作成

総輸入発売元 株式会社ヤマハミュージックジャパン
日本語版公式ウェブサイト <http://www.marshallamps.jp/>

カタログコード —WMAR01
品目コード P11400193